

令和8年度指定管理者サービスチェック

6月30日（火）コミュニティセンター

◆施設カルテ・・・・・・・・・・・・・・・・P1

◆質疑通告書・・・・・・・・・・・・・・・・P2-15

◆施設別シート・・・・・・・・・・・・P16-135

◇評価シート・・・・・・・・・・・・P16-47

◇アンケート・・・・・・・・・・・・P48-65

◇事業報告書・・・・・・・・・・・・P66-96

◇決算書・・・・・・・・・・・・P97-110

◇労働条件審査チェックシート・・・・・・・・P111-118

◇関係例規・・・・・・・・・・・・P115-135

施設カルテ

基本事項

施設名称		開館時間	休館日		施設所管課
各コミュニティセンター		午前9時～午後9時	毎月第3火曜日、12月28日～1月4日		地域行政センター統括課
	所在地		建設年月日	床面積	敷地面積
北	大野城市御笠川1丁目17番1号		平成15年10月20日	3,324㎡	7,274㎡
東	大野城市大池2丁目2番1号		平成16年1月20日	2,795㎡	6,476㎡
中央	大野城市中央1丁目5番1号		平成11年3月15日	2,695㎡	4,633㎡
南	大野城市南ヶ丘5丁目9番1号		平成11年5月10日	3,471㎡	8,264㎡
設置目的		市民と行政のパートナーシップによるまちづくり及び生涯学習活動を推進するための拠点施設として、地区コミュニティごとに設置する。			
根拠法令等		大野城市コミュニティ条例、大野城市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例、大野城市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例施行規則			
指定管理者			指定管理者の所在地		
NPO法人共働のまち大野城			大野城市南ヶ丘5丁目9番1号		
施設種類	文教施設	指定期間	R4 年度～ R8 年度	選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募
管理者種類	☐ 市内の企業 ☐ 市外の企業 ☒ NPO、ボランティア団体 ☐ 自治会等コミュニティ組織				
	☐ 財団法人・社団法人・社会福祉法人、医療法人、学校法人等 ☐ 公的団体（区など）				

施設写真(北コミュニティセンター)		施設写真(東コミュニティセンター)	
			
施設写真(中央コミュニティセンター)		施設写真(南コミュニティセンター)	
			
パートナーシップ活動支援センター (写真: 東コミュニティセンター)	地域行政センター (写真: 東コミュニティセンター)	情報コーナー (写真: 東コミュニティセンター)	
			

指定管理者サービスチェック質疑通告書（令和８年度）

診断依頼された指定管理者サービスチェックについて、次のとおり質疑通告を行います。

No	施設名称	所 管 課
1	コミュニティセンター（南・中央・東・北）	地域行政センター 統括課

1 前回講評への対応状況等について

【前回講評・現在の指定管理者サービスについて（一部抜粋）】

- ・現指定管理者については、法人合併の効果が出ている一方、令和２年度のNPO法人の決算書を見ると、**収益の９割以上を指定管理者交付金**が占めています。今後、NPO法人の活動の充実強化及び市の財政的負担の軽減の観点から、**新たな収益源を確保**することも求められます。その結果、**現在指定管理業務として交付金の対象としている業務をNPO法人の自主事業とすることなどにより、指定管理者交付金の削減につなげることが可能**になると考えます。
- 上記【前回講評・現在の指定管理者サービスについて（一部抜粋）】に対して、「NPO法人の活動の充実強化及び市の財政的負担の軽減の観点から、新たな収益源を確保」として、前回の診断結果講評からの５年弱の期間で取り組んだ内容とその成果（市の財政的負担軽減の金額、新たな収入源の金額）を教えてください。その際、前回診断時（R2 年度決算）は新型コロナ禍の行動制限中、今回（R7 年度決算）は行動制限解除後３年目であることも踏まえてください。

図表 経常収益・内訳の状況（前回診断時 R2 年度決算、今回 R7 年度決算）

		金額(千円)		構成比					
				対合計 :a/b		対事業収益計 :a/c		対受取補助金等+事業収益:a/(c+d)	
		R2 年度	R7 年度	R3 年度	R7 年度	R2 年度	R7 年度	R2 年度	R7 年度
受取会費	正会員受取会費	330	303	0.2%	0.1%				
	賛助会員受取会費	209	176	0.1%	0.1%				
受取寄付金			1	0.0%	0.0%				
受取補助金等 :d	受取補助金	120,373	153,532	57.9%	59.2%			59.1%	59.8%
	受取負担金	550		0.3%	0.0%			0.3%	0.0%
事業収益:c	自主事業収益:a	554	576	0.3%	0.2%	0.7%	0.6%	0.3%	0.2%
	受託事業収益	65,207	72,031	31.3%	27.8%	78.8%	69.8%	32.0%	28.1%
	事業収益	490	514	0.2%	0.2%	0.6%	0.5%	0.2%	0.2%
	施設使用料収益	16,544	30,095	8.0%	11.6%	20.0%	29.2%	8.1%	11.7%
その他収益	受取利息	1	177	0.0%	0.1%				
	雑収入	3,818	1,846	1.8%	0.7%				
合計:b		208,076	259,251	100.0%	100.0%				

出典：NPO 法人共働のまち大野城・決算報告書

(回 答)

- ・前回の指摘事項に対しては、現在の指定管理業務は、地方自治法第 225 条による使用料がほとんどであり、地方自治法第 244 条の 2 第 8 項及び第 9 項による利用料など事業収入を見込めるものがないことを踏まえると、現指定管理業務を自主事業として実施することが適切であると
は考えていません。NPO 法人のノウハウと指定管理業務で蓄積された経験等を活用し、以下の

とおり、自主財源の確保に向けた取組を実施しています。

事業等	取組	成果
指定管理業務	- 施設の空き状況に関する情報発信の強化 - 窓口対応力向上のための職員研修	施設利用者増（施設使用料収益増）につながった。
自主事業	- 職員研修や同種団体等への視察を通じてスキルアップを行った。 - 令和7年度にオリジナルグッズを作成し販売を開始した。	- 県の委託事業の受託や職員による講師派遣を行うなど、新たな収入源の確保につながった。 - オリジナルグッズについては、窓口販売分の在庫分をプラットホーム事業の交換品として振り替え、窓口販売分は完売となっている。
その他	活動表彰や各種助成金等への申請 県や団体等が実施している各種活動表彰や助成金に申請し、法人や実施事業の周知や自己資金の調達に努めている。	- ふくおか地域づくり活動賞 準グランプリ受賞（令和6年度） - 地域づくり活動助成金 助成（令和7年度）

【収入額】

指定管理業務収入								(単位：千円)	
	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
事業収入	633	604	601	482	508	557	497	514	514
施設収入	24,221	23,905	23,918	16,544	20,931	25,577	26,162	25,878	30,095
駐車場収入	915	878	925	1,018	962	-	-	-	-
合計	25,769	25,387	25,444	18,044	22,401	26,134	26,659	26,392	30,609
自主事業収入								(単位：千円)	
	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	-	825	1,228	554	296	552	188	13	1,017

- 「コミュニティセンター別 一覧表」の「自主事業実施状況」では、以下の4事業が示されていますが、各事業の質問もご回答ください。

○コラボミーティング

- ・参加者数 36 人の所属（NP0 法人職員以外が居れば）

(回答)

コラボミーティング参加者の所属は以下のとおり

- ・自治体職員（大野城市、福津市、宗像市、那珂川市） 7人
- ・地域活動団体 7人
- ・NPO団体、独立行政法人 6人

- ・企業、事業主（イオン大野城、行政書士など） 5人
- ・市民活動センター（福岡市、大牟田市、福津市等） 4人
- ・個人参加 4人
- ・社団法人、社会福祉法人 3人

○オリジナルグッズ販売

- ・事業開始年度を教えてください。
- ・R7年度は▲87千円の赤字ですが、在庫32枚が全て売れると総合で92千円の黒字になるとの理解で良いですか。 $(2,000 \text{ 円/枚} - 1,650 \text{ 円/枚}) \times 265 \text{ 枚} = 92,750 \text{ 円}$

(回答)

- ・事業開始年度：令和7年度
- ・収入については、全て売れると92,750円の収益が出るということで間違いありません。
なお、事業報告書上の数字は実際に施設利用者に対する売上であり、実際には在庫分（32枚）はプラットフォーム事業の交換品として振り替えているため、売上額は530,000円（収益92,750円）となっています。

○コミュニティセンター清涼飲料水自動販売機設置等事業

- ・事業開始年度を教えてください。

(回答)

- ・事業開始年度：平成31年度（現法人による事業開始年度）

2. 事業報告書について

- 「3. 指定管理の概要」の「管理業務の内容」で、以下の業務が示されています。
 1. 受付案内業務 2. 施設管理運営業務 3. 共働事業運営業務 4. 施設維持管理業務 5. 管理を行う施設を拠点として行う各種コミュニティ振興事業 6. 利用状況及び維持管理に関する業務報告に関すること 7. その他市が定める業務
- 指定管理者が実施する事業は、一般的に自治体が企画・仕様決定する「自治体企画事業」（委託仕様型）、自治体が事業の大枠と事業実施の性能等を決めてそれに基づき指定管理者が企画実施する「指定事業」（性能発注型）、指定管理者が企画し自らの責任・費用で実施する「自主事業」に分けられます。上記1から5までの各業務について、「自治体企画事業」（委託仕様型）、「指定事業」（性能発注型）、「自主事業」のいずれに該当するのか、教えてください。また、「自治体企画事業」（委託仕様型）に該当する業務は委託仕様の内容を、「指定事業」（性能発注型）に該当する業務は性能発注の内容を教えてください。

●

(回答)

自治体企画事業	1. 受付案内業務、2. 施設管理運営業務、4. 施設維持管理業務（施設管理・運営業務） 3. 共働事業運営業務（対象事業：市民公益活動促進プラットフォーム事業） 5. 管理を行う施設を拠点として行う各種コミュニティ振興事業
---------	--

	(対象事業：天体観測事業)
指定事業	3. 共働事業運営業務 (対象事業：大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業、使ってバンク「暮らしのサポート事業」、買い物支援事業(買物代行「ごきげんお届け便」)) 5. 管理を行う施設を拠点として行う各種コミュニティ振興事業 (対象事業：サロン事業、指定管理者提案事業、中間支援及び相談養成事業)
自主事業	該当附番なし(上記1から5は指定管理業務(または事業)のため)

- ・自治体企画事業(委託仕様型)の委託仕様の内容及び指定事業(性能発注型)の性能発注内容は、別紙「大野城市コミュニティセンター指定管理者管理運営業務仕様書 抜粋」のとおり。

【大野城市市民公益活動促進プラットフォーム事業】

- 実施回数として活動登録数が示されています。これはどのようなデータなのか不明なので、補足説明をお願いします。また、対象人数として個人登録者数と団体数が示されていますが、本事業の成果である参加者数が見当たりません。1人1活動参加で1ポイントの場合は、延べ参加者数43,656人との理解で良いですか。さらに、R7年度の実活動参加者数(アクティブ登録者数)は何人でしょうか(1年間で1回以上活動に参加した人数)。

(回 答)

- ・活動登録数は、活動団体がボランティアを募って行う活動を、専用サイトに登録した件数です。参加者は、専用サイトで活動内容等を確認し、各活動に参加しています。
- ・本事業は、1活動1ポイントとなっているため、令和7年度の延べ参加者数が43,656人で間違いありません。
- ・令和7年度の実働参加者数は2,053人です。

- 4 コミュニセンターのポイント付与数が、最小5,239ポイント～最大18,335ポイントまで最大3倍以上の差があります。一方、事業費は3,313千円～4,182千円まで最大1.26倍の差に留まっています。各コミュニティセンターの事業費の費目を教えてください。

(回 答)

- ・費目は全コミュニティセンター共通

人件費	給料手当、法定福利費
その他経費	通信費、委託費、会議費、謝金、消耗品費、使用料

- ・事業PRや説明会、プラットフォーム連絡会などは、各コミュニティセンターのプラットフォーム事業担当者が協力して事業を実施しています。そのため、同事業に係る共通事業費は4等分していますが、ポイント交換品のように各コミュニティセンターで計上される経費が発生するため、差が生じています。

【大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業】

- 本事業の初期成果である、各コミュニティセンターで実施した事業数が、0件・2件・2件・1件が示されています。R7年度の本事業が助成した5件の名称・概要・成果を教えてください。

(回 答)

事業名	事業概要	事業成果
【東】 傾聴活動	・傾聴活動（個人宅、デイサービス施設等） ・傾聴ボランティア養成講座 ・会員の研修（スキルアップ講座、多団体との交流・情報交換）	・独居者や施設利用者の孤独化、孤立化を防ぎ、悩みや不安解消の一助となった ・養成講座を通じて傾聴活動等への参加者が増加した
【北】 地域猫活動	・野良猫の不妊去勢手術 ・適切な給餌 ・子猫の保護、譲渡会 ・周知、広報活動	・地域環境の改善につながった（ごみが荒らされなくなった、野良猫を見かけなくなった、TNR猫を見かける等） ・猫を7匹保護し、5匹を譲渡
【東】 子どもによる地域活動の実施・発展を目指した事業	・小学生を対象とした生活、社会、自然体験の場の提供 ・主な活動 清掃活動 スポーツ活動（週1回） 子どもたち考案のキャンプ 大学教授等による講演会	・参加した子どもたちが、自発的な活動を心がけるようになるなど、地域の将来を担う子どもたちの育成につながった ・地域コミュニティ活動の活性化につながった
【中央】 Hug スポット ～育む場所を私たちの手で～	・市民参加型イベントの企画立案及び運営 ・各種イベントの企画立案及び運営	・地域住民の交流の場の創出 ・地域活動への参加意欲向上、担い手の発掘につながった ・継続的な地域コミュニティ形成の第一歩となった
【中央】 公園、遊歩道の環境整備（草刈り）	・瓦田区内の公園、遊歩道の整備（草刈り）	・地域環境の改善及び歩行者の安全確保につながった

- 各コミュニティセンターで実施した事業数が、0件・2件・2件・1件です。一方、事業費は1,237千円～1,239千円とほぼ同一です。各コミュニティセンターの事業費の費目を教えてください。

(回 答)

- ・費目は全コミュニティセンター共通

人件費	給料手当、法定福利費
-----	------------

その他経費	通信費、委託費、会議費、謝金、消耗品費、使用料、旅費交通費、少額備品、支払助成金、支払手数料
-------	--

- ・申請があった地区となかった地区があるため、地区により事業数は異なりますが、各コミュニティセンターの担当者が協力して事業を実施しているため、共通事業費として同額を振り分けていますが、消耗品費等により差が生じています。

【買い物支援事業（買い物代行「ごきげんお届け便」）】

- 「登録者数」は支援対象者との理解で良いですか。また、本事業の成果として、延べ利用者数を教えてください。

（回 答）

- ・登録者は「支援対象者」ですが、登録者の中には、今後利用する予定で登録している方もいます。
- ・延べ利用者数 （単位：人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数	325	389	408	369

- 南コミュニティセンターのみ、参加者負担 83 千円が計上されています。どのような場合に、参加者負担が発生するのですか。

（回 答）

買物代行「ごきげんお届け便」事業は、イオン九州(株)、NPO法人共働のまち大野城、大野城市の三者共働で実施しており、イオン九州(株)は、同事業において配送完了1件につき100円の事務手数料をNPO法人共働のまち大野城に対して支払うこととなっています。

そのため、「参加者負担」は利用者が負担するものではなく、イオン九州(株)から支払われる事業収入のことでです。

なお、本事業は市全域を対象としていますが、主な業務を南コミュニティセンターに集約しているため、収入を同センターに集約して計上しています。

【使ってバンク「暮らしのサポート事業」】

- 本事業の成果である、手助けされた人数（実人数、延べ人数）を教えてください。

（回 答）

- ・手助けされた実人数及び延べ人数 （単位：人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実人数	248	237	241	267
延べ人数	1,823	1,783	2,002	2,241

- 各コミュニティセンターの「おたすけさん登録者数」は、最小34人～最大70人と最大2倍の差

があります。また、手助けされた人数も相当程度の差があると推測します。一方、事業費は、最小 5,562 千円～最大 5,687 千円とほぼ同額です。各コミュニティセンターの事業費の費目を教えてください。

(回 答)

※費目は全コミュニティセンター共通

人件費	給料手当、法定福利費
その他経費	通信費、委託費、会議費、謝金、消耗品費、使用料、活動時の駐車場代

- ・おタスケさん交流会や広報などは、各コミュニティセンターの担当者が協力して事業を実施しているため、経費は4等分で計上していますが、消耗品費、活動に伴う経費（駐車場代など）により差が生じています。

【サロン事業】

- 本事業の活動指標・成果指標として、サロン数が最小 2 サロン～最大 6 サロンで最大 3 倍、参加者数が最小 199 人～最大 1,161 人で最大 5.8 倍の差があります。各コミュニティセンターの延べサロン開催数を教えてください。また、事業費は最小 432 千円～最大 445 千円とほぼ同額です。各コミュニティセンターの事業費の費目を教えてください。

(回 答)

・開催回数

(単位：回)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
南コミ	277	234	163	99
中央コミ	97	126	89	20
東コミ	145	131	133	131
北コミ	130	139	143	115
合計	649	630	528	365

・費目は全コミュニティセンター共通

人件費	給料手当、法定福利費
その他経費	会議費、使用料

- ・広報や活動団体へのサポートなどは、基本的に各コミュニティセンターのサロン事業担当者が協力して事業を実施しているため、同事業に係る経費は4等分で計上していますが、冷暖房費などで差が生じています。

【天体観測事業】

- 本事業の活動指標として、南・中央・東はランドセルクラブ（出前講座）最小 2 回～最大 4 回、南のみ出張観望会 1 回を実施し、事業費は全て 1,055 千円です。活動量が異なるにもかかわらず事業費が同額の理由を教えてください。

(回 答)

- ・中央地区、東地区に計上されている事業費は人件費のみ計上しているため同額となっており、

南地区は人件費に加え出張観望会の施設使用料を計上しているため、金額が異なります。
 ※ランドセルクラブ（学童保育所）や北コミュニティセンターでの星空観望会等、本事業の開催時は基本的に各コミュニティセンターの天体観測事業担当者が協力して事業を実施しているため、全てのコミュニティセンターにおいて人件費を計上しています。

- 北コミュニティセンターは、参加者負担 32,600 円が計上されています。市民星空観望会へ参加する人の参加料との理解で良いですか。また参加料の金額を教えてください。

（回 答）

- ・北コミュニティセンターにのみ計上されている「参加者負担」は、ランドセルクラブでの出前講座実施時の材料費※です。実際には、各コミュニティセンターの担当者が協力して各地区のランドセルクラブで講座を行っていますが、天体事業に関する主な業務を北コミュニティセンターが中心行的に行っているため、集約して計上しています。

※材料費は参加者 1 人あたり 100 円

- 北コミュニティセンターは、市主催イベント 8 回が計上されています。市主催イベントの概要を教えてください。

（回 答）

- ・事業報告書に誤りがあり、市主催イベントへの参加は正しくは 7 回でした。
- ・市主催イベントの概要は以下のとおりです。なお、イベント内容は全て太陽観測です。

イベント名	日時	主な対象
御笠川フェス	8 月 24 日（日）10～12 時	北地区住民
おおの山城大文字まつり	9 月 27 日（土）11～14 時	全市民
	9 月 28 日（日）11～14 時	
MADOKA れくスポ祭（北）	10 月 13 日（月）10～12 時	北地区住民
産業展	11 月 1 日（土）10～14 時	全市民
	11 月 2 日（日）10～14 時	
山田ふれあい広場	11 月 8 日（土）10 時半～13 時	山田区民

- 本事業は、「自治体企画事業」（委託仕様型）と、「指定事業」（性能発注型）のいずれでしょうか。また、どちらの場合であっても、事業の内容・数量・目標等を示す市からの資料をご提示ください。

（回 答）

- ・本事業は「自治体企画事業」となっています。
- ・事業の内容・数量・目標等については、「大野城市コミュニティセンター指定管理者管理運営業務仕様書 逐条解説」にて毎年度、共有しています。

(2) 天体観測事業運営業務

北コミュニティセンターにあるまどかドームや天体観測に関する機器等を活用し、市民の天体に対する関心を高め、地域のにぎわいを創出するとともに、青少年の育成を行い、天体を通じて将来の夢に繋がるような事業を行う。

なお、業務内容や実施回数については毎年度、事業計画策定時に必ず市と協議を行い、決定すること。

《業務内容》

- ア 市民星空観望会の実施に関する業務
- イ 季節イベントの実施に関する業務
- ウ 天文学講座の実施に関する業務
- エ ボランティア養成講座の実施に関する業務
- オ 天体望遠鏡等の活用拡大に関する業務
 - ・ 学校での活用拡大に向けた検討及び学校との連携による機材の活用に関する業務
 - ・ 各種イベント等における天体観測事業のPR等に関する業務

(2)では、天体観測事業の具体的な業務内容を明記しています。

なお、各業務の基準となる回数は以下のとおりとし、実施する内容や回数については、事業計画策定時に毎年度市と協議することとしています。

《令和7年度 基準回数／参考値》

- ・実施基準回数：56回
- ・参加者数：4,500名
- ・ボランティア登録数：56名

「大野城市コミュニティセンター指定管理者管理運営業務仕様書 逐条解説」抜粋

3. 指定管理者（NPO法人）の経常収益について

- 指定管理者の決算報告書・予算比較表では、前回診断時（令和2年度決算）と今回診断時（令和7年度決算）では、以下の違いがあります。令和2年度は新型コロナ禍の行動制限中なので、影響がなかった予算の値を活用します。
- 人件費交付金と指定管理者交付金の金額の積算・決定方法を教えてください。特に職員体制と施設管理運営以外の事業の数量・内容をどの様に決めているのかについては、具体的に教えてください。
- また、人件費が、R2年度予算と比較してR7年度決算額が1.14倍となっています。人件費交付金が14%増加した主な要因（パートタイマーの時給アップ、延べ人員数の増）を教えてください。

図表 指定管理者交付金に関する収益の推移（R2年度決算、R7年度決算）

			R2年度		R7年度		備考
			予算	決算	予算	決算	
経常収益	受取補助金等	受取補助金(人件費)	134,757	120,373	157,276	153,532	人件費交付金
		受取負担金	0	550	0	0	避難所補助金等
		受託事業収益	67,589	65,207	71,590	72,031	指定管理者交付金、学校・公園受付業務受託料、他
	計		202,346	186,130	228,866	225,563	

（回 答）

（１）指定管理者交付金積算

- ・直近３年度間の実績表をもとに、費目ごとに平均額や参考見積によって積算しています。また、参考見積を聴取しない費目（平均額等）については、内容等について指定管理者へのヒアリングや資料を参考のうえ、決定しています。

※実績表の各費目には施設管理運営費と事業費が合算されているため、事業費として別途の算出はしていません。

（２）人件費補助金

①積算方法について

- ・市の会計年度任用職員の俸給表等をもとに積算しています。

②増額要因について

増額の要因については、以下のとおりです。

- ・常勤職員の対象人数見直し（令和２年度 26 名 令和７年度 28 名）
- ・常勤職員のベースアップ（会計年度任用職員の俸給表改定に基づく）
- ・非常勤職員の最低賃金改定に伴う対応

IV 指定管理者が行う業務の範囲

1 パートナースHIPによるまちづくりに関する業務

指定管理者は、パートナーシップによるまちづくりを推進するため、市民相互または市及び市民の間に立って支援する中間支援組織として、パートナーシップ支援センターの運営を行うこと。

なお、パートナーシップ活動支援センターにおいては、コミュニティ構想の趣旨を踏まえ、次の業務又は事業を行うこと。また、業務の実施にあたり、その一部を専門知識・技能を有する専門業者等の第三者に対して委託、又は請け負わせることができるものとする。

(1) パートナースHIPによるまちづくりの活動促進及び活動支援に関する業務

① 中間支援及び相談養成に関する業務

《主な業務内容》

ア パートナースHIPによるまちづくりの推進を目的とした、団体または個人に対する中間支援に関する業務。

イ 法人の持つノウハウやネットワーク、情報等を活用して行う相談・養成に関する業務。

② 大野城市市民公益活動促進プラットフォームの管理運営業務

市民公益活動への市民の参加促進、市民公益活動の活性化、市民公益活動団体の連携及び共働を推進していくことで、活気あふれる地域を維持・継続していくための環境を整備する事業として、大野城市市民公益活動促進プラットフォーム管理運営要綱（平成30年要綱第37号）第4条の規定に基づき、大野城市市民公益活動促進プラットフォームの管理運営を行う。

《業務内容》

ア 総合ポータルに掲載する情報の管理に関すること

イ 総合ポータルの利用団体の管理に関すること

ウ まどかぶらっとの登録に関すること

エ まどかぶらっとの対象活動の管理に関すること

オ 連絡会議に関すること

カ ポイント管理用端末の管理に関すること

キ その他プラットフォームの管理運営に関すること

③ コミュニティ活動に取り組む団体を対象とした助成事業

《主な事業内容》

ア 地域課題の解決を目的として行う事業又は、コミュニティ活動に取り組む団体を対象として助成金の交付を行い、地域課題解決へと繋げる。

イ 団体の育成や関係機関との調整等、必要な支援を行うことにより、コミュニティ活動の活性化を図る。

④ 買物支援に関する事業

《主な事業内容》

ア 地域における日常の買物等が困難な市民に対して、買物代行などの支援を行うことで、地域における買物弱者問題の解決を図る。

⑤ コミュニティ活動やボランティア活動を通じて市民の共助力を高める事業。

《主な事業内容》

ア 地域住民同士のつながりを広め、地域の中でお互いに支え合う意識を醸成することでお互い様の輪を広げていく。

イ コミュニティ活動やボランティア活動を行う担い手不足の解消を図る。

⑥ コミュニティ活動を担う人材の発掘及び育成に関する事業

《主な事業内容》

ア コミュニティセンターを活用し、市民同士の情報交換や交流を図り、また、各地区コミュニティにおけるコミュニティ活動の発信の場とすることで、コミュニティ活動を担う人材の発掘を行う。

イ 市民が持つ特技や技能を活かして活動できる場所を提供し、コミュニティ活動を担う人材の育成を行う。

(2) 天体観測事業運営業務

北コミュニティセンターにあるまどかドームや天体観測に関する機器等を活用し、市民の天体に対する関心を高め、地域のにぎわいを創出するとともに、青少年の育成を図り、天体を通じて将来の夢に繋がるような事業を行う。

なお、業務内容や実施回数については毎年度、事業計画策定時に必ず市と協議を行い、決定すること。

《業務内容》

ア 市民星空観望会の実施に関する業務

イ 季節イベントの実施に関する業務

ウ 天文学講座の実施に関する業務

エ ボランティア養成講座の実施に関する業務

オ 天体望遠鏡等の活用拡大に関する業務

- ・ 学校での活用拡大に向けた検討及び学校との連携による機材の活用に関する業務
- ・ 各種イベント等における天体観測事業のPR等に関する業務

2 施設の管理運営に関する業務

施設の管理運営業務に際しては、次の業務を行うこと。

なお、業務の実施にあたり、施設の貸出運営業務を除く一部の業務を、専門知識・技能を有する専門業者等の第三者に対して委託、又は請け負わせることができるものとする。

(1) 受付案内業務

- ① 施設の予約、受付に関すること
- ② 使用の許可及び許可の取消しに関すること
- ③ 利用料の徴収、減免、還付等に関すること
- ④ 公共施設予約システムによる入力操作及び許可証等の発行手続きに関すること
- ⑤ 施設の案内及び使用上の注意事項、遵守事項の伝達、指導に関すること
- ⑥ 郵便物の受理整理に関すること
- ⑦ 落し物の保管整理に関すること
- ⑧ 館内及び場内放送に関すること
- ⑨ 来館者等の応対接遇に関すること
- ⑩ その他施設の総合案内に関すること

(2) 施設貸出運営業務

- ① 研修室や多目的室等の施設の付属設備、施設備品、器具等の貸出及び返却の確認
- ② 上記(1)の付属設備、施設備品等の保管（簡易な補修含む）に関すること
- ③ 施設使用状況の把握に関すること
- ④ 開館中における施設内の警備及び保安業務に関すること
- ⑤ 照明の点灯及び消灯に関すること
- ⑥ 駐車場の整理及び臨時駐車場の確保に関すること
- ⑦ 利用者の意見、要望等の把握に関すること
- ⑧ その他施設の運営全般に関すること

(3) 施設等維持管理業務

指定管理者は、施設を良好な状態に保ち、施設利用者の満足度及びサービスの向上を目的として、次の業務を実施すること。

なお、業務の実施にあたっては、指定管理者が専門知識・技能を執する専門業者等の第三者に対し、委託又は請け負わせることができるものとする。

また、記載されていない事項であっても、業務に付随すると認められるものについては、好意的に実施すること。

【設備等保守点検業務】

- ① エレベーター保守点検業務
- ② 雨水処理施設維持管理業務
- ③ 空調設備保守点検業務
- ④ 消防設備保守点検業務
- ⑤ 自家用電気工作物保守点検業務
- ⑥ 自動扉開閉装置保守点検業務
- ⑦ 可搬型発電機保守点検業務

⑧ バスケットゴール保守点検業務

⑨ 舞台吊物設備保守点検業務

⑩ 電動ステージ保守点検業務

⑪ 可動椅子保守点検業務

⑫ 天体ドーム保守点検業務

【施設管理業務】

① 害虫駆除業務

② 機械警備業務

③ 樹木管理業務

④ 塵芥収集業務

⑤ 清掃業務

⑥ 保安・管理業務

【施設への物品設置業務】

① マット等の設置に関する業務

■コミュニティセンター別 一覧表

		南コミュニティセンター	中央コミュニティセンター	東コミュニティセンター	北コミュニティセンター	
所管課による評価	総合結果	163.8点／200.0点	166.3点／200.0点	163.8点／200.0点	163.8点／200.0点	
	・施設の維持管理	83.8点／100.0点	83.8点／100.0点	83.8点／100.0点	83.8点／100.0点	
	チェック項目	協定遵守	A	A	A	A
		法令等遵守	A	A	A	A
		個人情報の保護	A	A	A	A
		公金処理	A	A	A	A
		利用許可	A	A	A	A
		安全管理	S	S	S	S
		衛生管理	A	A	A	A
	チェック項目	美化清掃	S	S	S	S
		環境配慮	S	S	S	S
	・施設サービス	42.5点／50.0点	45.0点／50.0点	42.5点／50.0点	42.5点／50.0点	
	チェック項目	利用者範囲	A	A	A	A
		サービス内容	A	A	A	A
		職員育成	S	S	S	S
		ニーズの把握・活用	A	A	A	A
	チェック項目	地域協働	S	S	S	S
		・業務運営体制	37.5点／50.0点	37.5点／50.0点	37.5点／50.0点	37.5点／50.0点
	チェック項目	実施体制	A	A	A	A
		市との連絡	A	A	A	A
		緊急時対応	A	A	A	A
再委託		A	A	A	A	
経営状況		A	A	A	A	
収支妥当性		A	A	A	A	
改善点		施設の点検について、これまでは施設担当者のみで実施していたため、施設や備品等の修繕が必要な個所に気づきづらいことがあった。そのため、法人内において「予防保全型維持管理委員会」を立ち上げ、他のコミュニティセンターの施設担当者と共に点検することで視野が広がり、バスケットゴールの老朽化に伴う改修を個別施設設計に計上することができたことなど、適切なタイミングでの修繕や改修につなぐことができている。	施設の入口からカウンターが見えづらいレイアウトとなっており、利用者の動線がスムーズではないため、多くの利用者が迷っている姿が度々見受けられていた。そのため、令和7年度末に財産管理課から技術的な助言を受けたことから、掲示板やパーティションのレイアウトを工夫し、進路が分かりやすい配置に改善するよう、その検討に着手している。	近年全国的に増加しているカスタマーハラスメントや不審人物が館内に侵入した場合の対応研修を新たに実施し、対応フローを更新するなど、危険事案に対する対策が講じられている。 特に不審者対応研修は継続していくことに意義があるため、今後も引き続き行うとともに、その他のイレギュラー対応に関するマニュアルやフローの見直しも併せて行っていく必要がある。	施設利用者の増加及び室場の稼働率を上げるため、接遇研修を通じて職員による窓口での対応力を向上しているほか、館内装飾にも注力されている。 また、天体事業は、ホームページやSNS発信、ポスター、チラシなど、様々な形での事業PRにも努められているが、「天候により参加者数が大きく左右される」という課題があったため、令和8年度からは、参加者数を「スタードームまどかへ」の来館者数（館内での代替事業参加者数を含める）と整理することで、天候に左右されにくいものに改めている。	
改善手順・期間	日常の点検及び業者による保守点検に加え、予防保全型維持管理委員会による点検・協議を今後も継続して実施することにより、見落としがちな修繕箇所の削減に努める。	財産管理課からの助言をもとに、動線及びレイアウトを検討し、6月末までに掲示板等の配置換えを行い、より来館者にとって分かりやすく使いやすい施設となるように努める。	施設担当者会議にて、実際に各コミュニティセンターで発生した事案ごとに振り返りを行い、イレギュラー対応に適切に対応できるよう、市と協議をしながら、常にマニュアルやフローの見直しを進め、更に安全な施設運営に努めていく。	施設利用者の増加及び稼働率は、今後も対応策を検討するとともに、接遇研修も引き続き行い、利用者満足度のさらなる向上を目指す。 また、天体事業は、さらなる広報活動及び他団体とのコラボレーションを実施するなど、常に魅力的な事業を実施することを検討し、より一層の事業内容の向上を図る。		
利用者満足度	※利用者満足度は、アンケート結果より算出。最高点2点、最低点-2点。					
施設の満足度	1.25点	1.12点	1.15点	1.17点		
サービスの満足度	1.08点	1.11点	1.02点	1.22点		
施設の必要度	1.62点	1.67点	1.67点	1.68点		
収入	79,553千円	52,833千円	58,990千円	67,879千円		
支出	80,461千円	53,583千円	57,669千円	66,454千円		
当期純利益	1,088千円					
年間利用者数（R7年度）	175,853人	142,556人	106,054人	123,254人		
【指定管理者事業報告書】 職員体制	職員 24名（令和7年度は23名） NPO法人共働のまち大野城：理事長1名、副理事長1名、統括本部長1名 ①総務部：部長1名、班長1名、班員1名（令和7年度は班長不在） ②施設管理部：班長1名、班員1名、パート11名 ③事業部：班長1名、班員3名、補助員1名 ④勤務時間：午前8時30分～午後9時30分のシフト勤務（常勤職員 7時間45分、パート4時間30分（3交代制）	職員 17名 ①施設管理部：班長1名、班員1名、パート10名 ②事業部：班長1名、班員3名、補助員1名 ③勤務時間：午前8時30分～午後9時30分のシフト勤務（常勤職員 7時間45分、パート4時間30分（3交代制）	職員 15名（令和7年2～3月は16名） ①施設管理部：班長1名、班員1名、パート9名（令和8年2～3月は、班長退職に伴う引継ぎのため、班員2名体制（1名増員） ②事業部：部長1名、班長1名、班員2名 ③勤務時間：午前8時30分～午後9時30分のシフト勤務（常勤職員 7時間45分、パート4時間30分（3交代制）	職員 15名（令和7年2～3月は16名） ①施設管理部：部長1名、班長1名、班員1名、パート9名（令和8年2～3月は、班長退職に伴う引継ぎのため、班員2名体制（1名増員） ②事業部：班長1名、班員2名 ③勤務時間：午前8時30分～午後9時30分のシフト勤務（常勤職員 7時間45分、パート4時間30分（3交代制）		
【指定管理者事業報告書】 改善事例	◇定例会議の実施（1回／月） 施設管理担当者による会議を実施。各コミに寄せられた利用者の声や施設使用上の問題を持ち寄り、解決策を協議するとともに、以下の「改善事例」のような利用者満足度向上に向けた改善につなげている。 ◇改善事例 ・キャッシュレス決済の導入…利用者の利便性向上を目的として導入。インターネット予約時に利用可能 ※令和7年度中に協議、調整を行い、令和8年4月より開始 ・会議室の利用時間の延長…多くの利用者からの要望を受け、利用時間の延長を行った。空き部屋の有効利用や稼働率の上昇につなげた。					
【指定管理者事業報告書】 今後の改善課題とその対策	・「予防保全型維持管理委員会」の立ち上げ 施設の老朽化、経年劣化による不具合箇所の散見に伴い、早めに不良箇所を確認・修繕していくことを目的として組織を立ち上げ、複数の視点で定期的な点検を行っている。 なお、点検時に確認した不良箇所は市担当課への情報共有や点検業者との情報交換を密に行うこととしている。備品についても同様に経年劣化が見受けられるため、市貨と備品、法人独自の備品ともに、現状確認と台帳の整理を継続する。 ・利用者ニーズへの対応 利用者アンケートや、窓口での利用者からの声をもとに、施設的环境整備やルールの改訂などを今後も引き続き行っていく。また、更なる利用者の増加や利用満足度の向上を図るため、利用者アンケートの実施期間延長や、半期ごとの実施、WEBアンケートの実施を含め、利用者の声を多く集める方法を検討する。					
指定管理事業実施状況	中間支援及び相談養成事業					
	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日 ・相談者数・講座参加者数合計： 51人 ・事業費計： 606,108円 事業者負担：606,108円 参加者負担： 0円	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日 ・相談者数・講座参加者数合計： 47人 ・事業費計： 608,705円 事業者負担：608,705円 参加者負担： 0円	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日 ・相談者数・講座参加者数合計： 61人 ・事業費計： 609,215円 事業者負担：609,215円 参加者負担： 0円	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日 ・相談者数・講座参加者数合計： 34人 ・事業費計： 606,985円 事業者負担：606,985円 参加者負担： 0円		
	【事業内容】 【中間支援】 パートナーシップによるまちづくりの推進を目的とし、企業や地域で活動している団体と個人、行政等を適切に結び、更なる地域活動の発展や活性化につなげていく役割を担うもの。 【相談養成事業】 地域で活動している方（団体・個人）からの団体運営や人材（ボランティア）集めなどの相談に対し、アドバイスを行うもの。					
	【R7年度実施内容】 ・相談受付（常時） ・まちづくり相談会の開催（主催イベント開催時に同時開催） ・まちづくり相談weekの開催（相談受付（PR）強化週間） ・地域力UP講座（第4回）	【R7年度実施内容】 ・相談受付（常時） ・まちづくり相談会の開催（主催イベント開催時に同時開催） ・まちづくり相談weekの開催（相談受付（PR）強化週間） ・地域力UP講座（第3回）	【R7年度実施内容】 ・相談受付（常時） ・まちづくり相談会の開催（主催イベント開催時に同時開催） ・まちづくり相談weekの開催（相談受付（PR）強化週間） ・地域力UP講座（第1回）	【R7年度実施内容】 ・相談受付（常時） ・まちづくり相談会の開催（主催イベント開催時に同時開催） ・まちづくり相談weekの開催（相談受付（PR）強化週間） ・地域力UP講座（第2回）		

■コミュニティセンター別 一覧表

	南コミュニティセンター	中央コミュニティセンター	東コミュニティセンター	北コミュニティセンター
指定管理事業実施状況	大野城市市民公益活動促進プラトホーム事業			
	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日
	・ポイント付与数: 18,335pt※	・ポイント付与数: 13,097pt※	・ポイント付与数: 5,239pt※	・ポイント付与数: 6,985pt※
	・事業費計: 4,182,409円 事業者負担: 4,182,409円 参加者負担: 0円	・事業費計: 3,672,822円 事業者負担: 3,672,822円 参加者負担: 0円	・事業費計: 3,313,894円 事業者負担: 3,313,894円 参加者負担: 0円	・事業費計: 3,619,261円 事業者負担: 3,619,261円 参加者負担: 0円
	【事業内容】 ①から③までの仕組みを構築し、市民公益活動への参加促進や地域活動の活性化をするもの。 ①市民公益活動の参加促進を図るための『ポイント制度』 ②市民公益活動の見える化を図る『総合ポータルサイト』 ③活動団体同士がつながり、共に成長する『プラトホーム連絡会議』 ※4地区を一つのシステムでまとめて管理をしているため、総数を按分。			
	【R7年度実施内容】 ○学校関係活動 ・小学校への出前講座 2校 ・学校と地域との連携活動 2回 ○事業説明、PR活動 ・総合教育会議にてPR ○市等との連携 ・市各課との連携強化(各課発行物への掲載…健康課、循環型社会推進課、団体登録…学校・地域連携課) ・心のふるさと館との連携(ふるさと館ショップクーポン券への交換窓口増加) ○連絡会議、支援等 ・プラトホーム連絡会議 1回 ・登録団体支援48回	【R7年度実施内容】 ○事業説明、PR活動 ・総合教育会議にてPR ○市等との連携 ・市各課との連携強化(各課発行物への掲載…健康課、循環型社会推進課、団体登録…学校・地域連携課) ・心のふるさと館との連携(ふるさと館ショップクーポン券への交換窓口増加) ○連絡会議、支援等 ・プラトホーム連絡会議 1回 ・登録団体支援20回	【R7年度実施内容】 ○学校関係活動 ・学校と地域との連携活動 1回 ○事業説明、PR活動 ・総合教育会議にてPR ○市等との連携 ・市各課との連携強化(各課発行物への掲載…健康課、循環型社会推進課、団体登録…学校・地域連携課) ・心のふるさと館との連携(ふるさと館ショップクーポン券への交換窓口増加) ○連絡会議、支援等 ・プラトホーム連絡会議 1回 ・登録団体支援47回	
	大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業			
	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日
	・実施事業数: 0件	・実施事業数: 2件	・実施事業数: 2件	・実施事業数: 1件
	・事業費計: 1,237,499円 事業者負担: 1,237,499円 参加者負担: 0円	・事業費計: 1,239,228円 事業者負担: 1,239,228円 参加者負担: 0円	・事業費計: 1,239,678円 事業者負担: 1,239,678円 参加者負担: 0円	・事業費計: 1,237,608円 事業者負担: 1,237,608円 参加者負担: 0円
	【事業内容】 一定の効果が期待できる「地域のためになる活動」や「地域課題解決のための事業」を主体的に実施する市民団体などに対して、その事業費の一部を予算の範囲内で助成するもの。 また、関係機関・団体との調整や活動に関するアドバイスなど側面的にサポートし、支援するもの。 【R7年度実施内容】 ・審査会 1回 ・決定通知書交付式 1回 ・事業実施報告会 1回 ※審査会等は全て4コミュニティセンター全体で実施			
	買い物支援事業(買い物代行「ごきげんお届け便」)			
	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日
	・登録者数: 49人	・登録者数: 46人	・登録者数: 26人	・登録者数: 19人
	・事業費計: 10,157,243円 事業者負担: 10,073,843円 参加者負担: 83,400円	・事業費計: 927,307円 事業者負担: 927,307円 参加者負担: 0円	・事業費計: 927,307円 事業者負担: 927,307円 参加者負担: 0円	・事業費計: 927,307円 事業者負担: 927,307円 参加者負担: 0円
	【事業内容】 重いものが持てない、インターネットが使えないなど日常の買い物にお困りな方を対象にイオンネットスーパーへの注文を代行する。大野城市、イオン大野城店、NPO法人共働のまち大野城の三者共働により事業を展開するもの。 【R7年度実施内容】 ・新たな買い物支援の研究・調査 ・「買い物支援ガイドブック」の再編集、発行(1,500部発行/全コミ合計) ・「イオンネットスーパー注文講座」の実施検討、協議			
	使ってバンク「暮らしのサポート事業」			
	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日
	・おたスケさん登録者数: 70人	・おたスケさん登録者数: 54人	・おたスケさん登録者数: 36人	・おたスケさん登録者数: 34人
	・事業費計: 5,617,106円 事業者負担: 5,491,406円 参加者負担: 125,700円	・事業費計: 5,687,597円 事業者負担: 5,503,197円 参加者負担: 184,400円	・事業費計: 5,588,517円 事業者負担: 5,530,617円 参加者負担: 57,900円	・事業費計: 5,562,473円 事業者負担: 5,532,073円 参加者負担: 30,400円
	【事業内容】 日常の中のちょっとした困りごと(ごみ捨て、草刈りなど)を抱えた手助けが欲しい人と、誰かを助けたい人(おたスケさん)をつなぎ、地域の中で支え合い、手助けを必要とする人の暮らしを、おたスケさん(地域のボランティア)と一緒にサポートするもの。 【R7年度実施内容】 ・おたスケさん交流会の実施 2回 (目的:活動意欲の向上、継続) ・おたスケさん新聞の発行 2回 (目的:事業実施(活動)状況の情報共有)			
	サロン事業			
	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日
	・参加者数: 1,150人(6サロン)	・参加者数: 199人(2サロン)	・参加者数: 830人(4サロン)	・参加者数: 1,161人(5サロン)
	・事業費計: 441,413円 事業者負担: 441,413円 参加者負担: 0円	・事業費計: 432,372円 事業者負担: 432,372円 参加者負担: 0円	・事業費計: 445,922円 事業者負担: 445,922円 参加者負担: 0円	・事業費計: 443,522円 事業者負担: 443,522円 参加者負担: 0円
	【事業内容】 地域住民の居場所づくり、参加者の交流を目的としているほか、サロン事業を通して地域活動を担う人材の発掘や育成につなげるもの。 【R7年度実施サロン】 ①囲碁将棋サロン ②げんきかいサロン ③抹茶カフェサロン ④声をだしてリフレッシュサロン ⑤やさしいヨガサロン ⑥みんなで手話会サロン 【R7年度実施サロン】 ①囲碁将棋サロン ②いきいきダーツサロン ③花とひと時サロン ④ふくふくサロン 【R7年度実施サロン】 ①囲碁将棋サロン ②親子でリミックサロン ③健康づくりサロン ④みんなで麻雀サロン ⑤アロママッサージサロン			

■コミュニティセンター別 一覧表

	南コミュニティセンター	中央コミュニティセンター	東コミュニティセンター	北コミュニティセンター
指定管理事業実施状況	天体観測事業			
	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日
	・参加者数： 241人 ボランティア： 1人	・参加者数： 117人 ボランティア： 0人	・参加者数： 80人 ボランティア： 0人	・参加者数： 2,834人 ボランティア： 299人
	・事業費計： 1,055,832円 事業者負担：1,055,832円 参加者負担： 0円	・事業費計： 1,055,142円 事業者負担：1,055,142円 参加者負担： 0円	・事業費計： 1,055,142円 事業者負担：1,055,142円 参加者負担： 0円	・事業費計： 5,786,634円 事業者負担：5,754,034円 参加者負担： 32,600円
	【事業内容】 スタードームまどかや出張観望会などを通じて天体に対する関心を高め、青少年の育成を図るもの。 業務委託業者やボランティアが中心となり、定期的な星空観望会や天体講座、天体ボランティア養成講座、出張観望会などを実施している。 ※星空観望会や天体ボランティア養成講座は北コミュニティセンターにて実施。			
	【R7年度実施内容】 ・ランドセルクラブ(出前講座) 3回 ・出張観望会 1回	【R7年度実施内容】 ・ランドセルクラブ(出前講座) 4回	【R7年度実施内容】 ・ランドセルクラブ(出前講座) 2回	【R7年度実施内容】 ・ランドセルクラブ(出前講座) 2回 ・出張観望会 1回 ・市民星空観望会 24回 ・季節イベント 6回 ・天体講座 2回 ・天体ボランティア養成講座 12回 ・市主催イベント 8回
	コミュニティセンター管理運営			
	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日
	・利用者数： 175,853人	・利用者数： 142,556人	・利用者数： 106,054人	・利用者数： 123,254人
	・事業費計： 41,761,468円 事業者負担：31,556,938円 参加者負担：10,204,530円	・事業費計： 37,349,284円 事業者負担：30,262,824円 参加者負担： 7,086,460円	・事業費計： 38,180,540円 事業者負担：32,444,910円 参加者負担： 5,735,630円	・事業費計： 39,716,544円 事業者負担：32,647,824円 参加者負担： 7,068,720円
	【事業内容】 コミュニティセンターの利用者が安全かつ快適に利用できるよう、施設の維持管理及び運営を行うもの。 【施設管理】 ・施設及び備品の管理、修繕 ・再委託業務(清掃、警備、各種設備の保守点検等)による館内外の適正な管理 【施設運営】 ・各室場の貸出や設備の貸出 ・予約等の受付業務 ・市主催業務(集団検診、選挙(期日前投票所)等)実施時の案内補助や、他の施設利用者との調整 【その他】 ・防災士資格を保有する職員の配置(災害時の避難所対応力向上のため)			
	指定管理者提案事業(施設利用促進・生涯学習事業)			
	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日
	・参加者数： 359人	・参加者数： 581人	・参加者数： 609人	・参加者数： 947人
	・事業費計： 5,956円 事業者負担： 5,956円 参加者負担： 0円	・事業費計： 7,276円 事業者負担： 7,276円 参加者負担： 0円	・事業費計： 7,956円 事業者負担： -28,044円 参加者負担： 36,000円	・事業費計： 19,966円 事業者負担： 9,166円 参加者負担： 10,800円
	【事業内容】 多様な主体にコミュニティセンターを活用してもらい、コミュニティセンターの利用促進や生涯学習を推進するもの。(指定管理者が自ら企画して実施している。)			
	【R7年度実施内容】 ・ロビーコンサート …施設利用団体による、ロビーコンサートを開催。参加者 94名※ ・絵本の読み聞かせ会 …未就学児を対象とした読み聞かせ会を定期開催。参加者 94名※ ※ロビーコンサートと絵本の読み聞かせ会は同日開催の為、参加者数は合算 ・夏休みシールラリー …未就学～小学生を対象として、館内を巡ってシールを集めるシールラリーを開催。参加者 265名 ・まどかびあ図書館の本の設置 …まどかびあ図書館のPR等を目的として、団体利用を活用して本や雑誌を20冊ずつロビーに設置。毎月1回入替 ・キットバスアート …平野中学校美術部の生徒によるキットバスアートの実施 ・館内装飾 …来館者に楽しんでもいただくことを目的として、季節ごとに館内の装飾を行った	【R7年度実施内容】 ・プレイスアミーゴ …学生を対象とした学習支援。軽食の提供や、ボランティアによる学習指導を実施。参加者 21名 ・キッズ画伯展 …幼児や小学生による館内装飾(キットバスアート)を開催。参加者 117名 ・ロビーコンサート …施設利用団体による、ロビーコンサートを開催。参加者 82名 ・絵本の読み聞かせ会 …未就学児を対象とした読み聞かせ会を定期開催。参加者 89名 ・夏休みシールラリー …未就学～小学生を対象として、館内を巡ってシールを集めるシールラリーを開催。参加者 272名 ・まどかびあ図書館の本の設置 …まどかびあ図書館のPR等を目的として、団体利用を活用して本や雑誌を20冊ずつロビーに設置。毎月1回入替 ・書道展 …中央コミュニティセンターを利用している団体による、小学生の書道展を実施。 ・館内装飾 …来館者に楽しんでもいただくことを目的として、季節ごとに館内の装飾を行った	【R7年度実施内容】 ・絵本の読み聞かせ会 …未就学児を対象とした読み聞かせ会を定期開催。参加者 53名 ・夏休みシールラリー …未就学～小学生を対象として、館内を巡ってシールを集めるシールラリーを開催。参加者 251名 ・書道展 …東コミュニティセンター利用団体による、小学生の作品展示会を実施。閲覧者 238名 ・Canva講座 …「地域力UP講座in東コミ」で実施した際、大変好評で受講できなかった方が多かったため、再度実施。参加者 20名 ・まどかびあ図書館の本の設置 …まどかびあ図書館のPR等を目的として、団体利用を活用して本や雑誌を20冊ずつロビーに設置。毎月1回入替 ・館内装飾 …来館者に楽しんでもいただくことを目的として、季節ごとに館内の装飾を行った	【R7年度実施内容】 ・ロビーコンサート …施設利用団体による、ロビーコンサートを開催。参加者 164名 ・絵本の読み聞かせ会 …未就学児を対象とした読み聞かせ会を定期開催。参加者 57名 ・夏休みシールラリー …未就学～小学生を対象として、館内を巡ってシールを集めるシールラリーを開催。参加者 265名 ・キッズフリマ …出店もお客さんも子どもたちで行うフリーマーケットを開催。参加者 370名 ・手紙・書道展 …北コミュニティセンター利用団体による作品展示会を実施 ・まどかびあ図書館の本の設置 …まどかびあ図書館のPR等を目的として、団体利用を活用して本や雑誌を20冊ずつロビーに設置。毎月1回入替 ・館内装飾 …来館者に楽しんでもいただくことを目的として、季節ごとに館内の装飾を行った
	まちづくり活動及びコミュニティセンター情報発信事業			
	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日	・実施時期 R7年4月1日～R8年3月31日
	・デジタル媒体総閲覧数： 13,024pv	・デジタル媒体総閲覧数： 13,024pv	・デジタル媒体総閲覧数： 13,024pv	・デジタル媒体総閲覧数： 13,024pv
	・事業費計： 1,035,096円 事業者負担：1,035,096円 参加者負担： 0円	・事業費計： 1,035,094円 事業者負担：1,035,094円 参加者負担： 0円	・事業費計： 1,035,094円 事業者負担：1,035,094円 参加者負担： 0円	・事業費計： 1,035,094円 事業者負担：1,035,094円 参加者負担： 0円
	【事業内容】 ホームページやSNSなどの媒体を通してまちづくり活動や実施事業、コミュニティセンターの情報発信を効果的に行うもの。 ①すまっぼん(アプリ風ホームページ) 施設使用状況を前日に更新し、4つのコミュニティセンター施設利用状況の発信強化及び共有化を図った。 アクセス数 3,120pv ②Instagram タイムリーかつ広域にまちづくりに関する情報を発信した。 フォロワー数168人、閲覧数 3,517 pv ③Facebook ツールを活用した情報共有を行い、事業のPR及び周知を実施した。 フォロワー数 75人、閲覧数 972pv ④LINE 「投稿」による積極的な情報発信・拡散を活用し、事業のPR及び周知を行った。 ターゲットリーチ 125人×30回＝3,750pv(登録者のうち配信許可されている人数) ⑤コミュニティセンターホームページ HPを活用し、パートナーシップ活動支援センター及び、コミュニティセンターの情報発信力強化を図った。 閲覧数 1,665pv ⑥コミュニティ通信 12回/年(中央コミュニティセンターは11回/年) ⑦各公民館へ掲示依頼12回/年 ⑧市広報掲載11回(各事業単位での掲載となるため、全コミュニティセンター共通の数値) ※デジタル媒体(「参加人数」及び①～⑤)については、全て4つのコミュニティセンターが一つのアカウントで管理をしているため、総数÷4の数値			

■コミュニティセンター別 一覧表

	南コミュニティセンター	中央コミュニティセンター	東コミュニティセンター	北コミュニティセンター
自主事業実施状況	コラボミーティング ・実施時期 令和8年1月18日 ・参加者数 36人 【事業内容】 福岡県が主催し、運営を各自治体と「共働の推進」や「中間支援」の役割を担う団体が受託し実施する事業。令和7年度は大野城市（NPO法人共働のまち大野城）と福津市（きっかけラボ）で開催。 【事業目的】 ・県内各地域における多様な主体の共働を促進するため、各主体の出会いの場を設けることで、共働による社会課題の解決に向けた取組につなげる。 ・県と市で共働実施することで、地域課題や社会課題の解決に向けて、より地域の実情に応じた事業とするとともに、これまでの市町村事業とは異なる層へのアプローチを行い、パートナーシップ活動支援センターの更なる発展につなげる。 【事業内容】 ・事例紹介及び「共働」についての説明 ・ワークショップ…多様な主体の専門性から来る強みを活かし、それぞれができることを考えるとともに、新しい視点を発見するためのワークショップを行った。 ・交流会（名刺交換会）…参加者同士の交流を図る場を設け、新たな共働の創出のきっかけづくりを行った。 ・開催場所…大野城市まどかびあ 【収支報告】 ・収入（県委託費） 440,440円 ・支出（人件費、施設使用料等） 440,440円 ※NPO法人共働のまち大野城全体（4コミ全体）で受託、実施			
	オリジナルグッズ販売 ・実施時期 令和7年5月～令和8年3月 【事業内容】 ・大野城市PRキャラクター「大野ジョー」を活用し、市内外に向けて大野城市のPRに努めることにより、地域の活性化やコミュニティセンターの利用促進につなげる 【事業目的】 ・大野ジョー君のイラスト、ロゴ付きTシャツの作成及び販売。 【収支報告】 ・収入（Tシャツ販売売上） @2,000×233枚 349,500円 ・支出（Tシャツ制作費） @1,650×265枚 437,250円 ・収支 ▲87,750円 ※収支は4コミュニティセンター全体のもの			
	コミュニティセンター清涼飲料水自動販売機設置等事業 ・実施時期 令和7年4月～令和8年3月 ・手数料収益 566,697円（南コミュニティセンター） ・手数料収益 291,614円（中央コミュニティセンター） ・手数料収益 412,458円（東コミュニティセンター） ・手数料収益 375,800円（北コミュニティセンター） 【事業内容】 ・清涼飲料水自動販売機を設置し、南コミュニティセンター利用者へのサービスの提供を行う ・災害時避難所開設時の飲料水提供を行う 【事業内容】 ・自動販売機及び災害グッズ収納付クリーンボックス※等の設置 ※災害発生時に配布可能な飲料水の備蓄分を業者が収納			
	その他実施事業			
自主事業実施状況			・SORA-Q操作体験in東コミ ・実施時期 令和7年8月25日 ・参加者数 47人 【事業内容】 【事業目的】 JAXAとタカラトミーが共同開発した「SORA-Q(変形型月面ロボットLEV-2)」の実物玩具を活用し、宇宙ロボットをテーマにした体験イベントを実施することで、子どもたちの好奇心や、学びの意欲を育てる。また、SORA-Qを通じて最先端の技術や月面探査への興味を広げる。 【事業内容】 ・SORA-Qの操作体験	
			・はじめてのCanva講座 ・実施時期 令和8年2月28日 ・参加者数 30人 【実施内容】 中村学園大学から講師依頼があり、「中村学園大学リカレント教育講座（卒業生の学び直しやキャリアアップを目的とした講座）」にて、当法人職員が講師としてCanva講座を実施。	
	南コミュニティセンター	中央コミュニティセンター	東コミュニティセンター	北コミュニティセンター

【別添 5】

施設の管理運営に関する評価シート

基本事項	No.	施設名称		部(局)名	課(室)名	
		南コミュニティセンター		地域創造部	地域行政センター統括課	
	指定管理者名称			指定管理者の所在地		
	NPO法人共働のまち大野城			大野城市南ヶ丘五丁目9番1号		
	総合計画における位置づけ	ライフステージ	全世代に向けて(コミュニティ)			
		方針	地域と行政が共働し、「まどか」なまちをつくる			
		取組	公益活動の活性化			
	施設種類	文教施設	指定期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度	選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募
管理者種類	☐ 市内の企業 ☐ 市外の企業 ☒ NPO、ボランティア団体 ☐ 自治会等コミュニティ組織 ☐ 財団法人・社団法人・社会福祉法人、医療法人、学校法人等 ☐ 公的団体(区など)					

利用状況	事業内容	1. パートナースHIP活動支援センターの運営 (1)共働事業の運営 (2)中間支援組織機能 2. 施設の管理及び運営 (1)施設の管理 (2)施設、備品等貸出業務
	利用者数	施設利用者 175,853人 ①ふれあいホール 43,591人 ②多目的室 25,510人 ③視聴覚室 6,700人 ④研修室 40,852人 ⑤交流室 7,844人 ⑥談話室 3,456人 ⑦個人使用 13,013人 ⑧調理コーナー 1,033人 ⑨健康室 13,547人 ⑩その他 20,307人 ※その他…学習コーナー、ロビー

収支状況	指定管理者の収入	総額 79,553 千円 (内訳) (指定管理者) 交付金 67,730 千円 利用料金収入 10,205 千円 自主事業収入 992 千円 その他収入 626 千円
	指定管理者の支出	総額 80,461 千円 (内訳) 人件費 51,789 千円 事務費 10,317 千円 管理費 18,236 千円 自主事業費 119 千円
	当期純利益	△ 909 千円 前期繰越損益 33,772 千円 当期未処理損益 1,087 千円

※前期繰越損益及び当期未処理損益は4コミュニティセンターの合計額

チェックシート結果 (自動表示)	163.8 点 / 200.0 点 →			総合評価 (自動表示)	S	達成率 S:80%以上 A:60%以上 B:40%以上 C:40%未満
	施設の維持管理	83.8 / 100.0	施設サービス	42.5 / 50.0	業務運営体制	37.5 / 50.0
利用者満足度 【最高点2点、最低点-2点】 (自動表示)	総合的評価 (満足度)	施設の評価 1.25 点 サービスの評価 1.08 点	総合的評価 (必要度)	1.62 点		
改善点 (不適切な部分及び改善内容等を記述)	施設の点検について、これまでは施設担当者のみで実施していたため、施設や備品等の修繕が必要な個所に気づきづらいことがあった。そのため、法人内において「予防保全型維持管理委員会」を立ち上げ、他のコミュニティセンターの施設担当者と共に点検することで視野が広がり、バスケットゴールの老朽化に伴う改修を個別施設計画に計上することができたことなど、適切なタイミングでの修繕や改修につながることができている。					
改善手順・期間	日常の点検及び業者による保守点検に加え、予防保全型維持管理委員会による点検・協議を今後も継続して実施することにより、見落としがちな修繕箇所の削減に努める。					

施設の管理運営に関するチェック項目

評価対象	配点	評価の視点・項目	確認方法	評価	点数 (自動計算)
施設の維持管理内容	協定遵守	20 ・ 協定に定めた業務が、適正な水準で確実に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	15.00 / 20.0
	法令等遵守	10 ・ 法令等の改正への対応や通知等の取り扱いが適切か ・ 法令等遵守に関するマニュアル等が整備されているか ・ 法令等遵守のための職員研修が計画的に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	7.50 / 10.0
	個人情報の保護	5 ・ 法令等に基づき、個人情報の取り扱いが適切か ・ 個人情報保護に関するマニュアル等が整備されているか ・ 個人情報保護のための職員研修が計画的に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	3.75 / 5.0
	公金処理	10 ・ 定められた料金を適正に収受しているか ・ 利用料金の還付や減免処理など適切に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	3.75 / 5.0
	利用許可	5 ・ 利用許可又は不許可は適切に行われているか ・ 利用者から利用許可に関する苦情等がないか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	7.50 / 10.0
	安全管理	15 ・ 安全管理のための行動計画やマニュアル等が整備されているか ・ それらに沿った安全対策が適切に実施されているか ・ 防災訓練等が計画的に実施されているか ・ 業務従事者に対する、安全教育が適切に実施されているか ・ 職員不在時の警備体制や鍵の管理が適切か 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 毎年行っている消防訓練や防災訓練に加え、新たに不審者対応研修等を実施し、危険事案に対するフローの見直しを行って	書類・ヒアリング	S	15.00 / 15.0
	衛生管理	15 ・ 衛生管理に向けた行動計画やマニュアル等が整備されているか ・ それらに沿った衛生管理が適切に実施されているか ・ 衛生管理の責任者が明確で、衛生管理に必要な人員、有資格者などが適正に配置されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	11.25 / 15.0
	美化清掃	10 ・ 整理整頓・清掃がなされ、美観を損なっていないか ・ 施設、設備、備品等の保守点検業務は適切に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 各施設担当から成る「予防保全型維持管理委員会」を令和6年度に立ち上げ、日々の保守点検に加え、施設の点検を実施し改善につなげている。	現地視察	S	10.00 / 10.0
施設サービス内容	環境配慮	10 ・ 公害防止、省エネへの取組が積極的に実施されているか ・ 廃棄物処理が適正に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 ゴミの分別や業者と共働で行うリサイクル活動にも注力し、市のゴミ減量・リサイクル優良事業所に選定された。	書類・ヒアリング	S	10.00 / 10.0
	利用者範囲	5 ・ 事業の目的と比較して、利用者の範囲は適切か ・ 広範で適切な広報活動を実施しているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	現地視察	A	3.75 / 5.0
	サービス内容	15 ・ 利用者数を増加させるための努力が実施されているか ・ 行政が直営する場合と比べて、サービス内容の拡大などサービスの質を高める工夫があるか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	11.25 / 15.0
	職員育成	10 ・ 職員の研修体制が整備されているか ・ 職員は、業務に即した資格や専門知識を有しているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 法人内における積極的な研修のほか、他自治体の施設や団体への視察を積極的に行っており、職員のスキルや意欲向上につながるとともに、各種指定管理業務の実績(達成度)も伸び	書類・ヒアリング	S	10.00 / 10.0

施設サービス内容	ニーズの把握・活用	10	・ 利用者の意見や要望が、アンケート等で把握されているか ・ アンケートや住民等の苦情を、業務改善に役立てているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	7.50 / 10.0
	地域協働	10	・ 地元の社会活動へ参加しているか ・ 地域に貢献する事業を実施しているか ・ 地元からの雇用、物資調達等を積極的に実施しているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 コミュニティ運営協議会の運営や、主催事業の運営補助に積極的に参画している。	書類・ヒアリング	S	10.00 / 10.0
実施体制等	実施体制	10	・ 統括責任者が明確で、責任の所在が明らかであるか ・ 業務遂行上に必要な職員数が配置されているか ・ 経理などの各種帳簿が作成され、適切に保管されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	7.50 / 10.0
	市との連絡	10	・ 年次(期別・月次)報告等の報告が、市に適切に提出されているか ・ 代表者の変更など重要事項の変更の届出が実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	7.50 / 10.0
	緊急時対応	5	・ 緊急時の連絡体制、初動体制が整備されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	3.75 / 5.0
	再委託	5	・ 指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか ・ 再委託する場合に適切な届出が実施されているか ・ 再委託先から業務報告を受けるなど、再委託先の管理は適切か 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	3.75 / 5.0
	経営状況	10	・ 直近の財務諸表等が提出され、財務状況に不安はないか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	7.50 / 10.0
	収支妥当性	10	・ 収支積算が妥当で、業務改善や経費削減の工夫があるか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	7.50 / 10.0
合計		200 点満点(「該当なし」がない場合) ※小数点第二位四捨五入				163.8 / 200.0
所見		南コミュニティセンターは市内コミュニティセンターの中で最も利用者が多い。コロナ禍が明け、日常生活が戻っていく中で、令和7年度は新規の定期使用団体も増えるなど、過去最高の利用者数となったことは評価できる。また、予防保全型維持管理委員会を立ち上げ、日常の保守業務に加え、複数の担当の目で施設を点検し改善につなげるなど、施設の安全管理の向上に努めている。				

次頁チェック項目の評価(S・A・B・C)の意味

- S** 業務目的や仕様、利用者評価等をもとに、期待水準より効率的・効果的に実施されており、高く評価できる。
- A** 業務目的や仕様、利用者評価等をもとに、期待水準どおりに実施されている。
- B** 概ね適切に実施されている。一部に不適切な部分が確認されたが、現在改善中あるいは既に改善済である。
- C** 不適切な部分が確認されたため改善を指示したが、未対応あるいは改善の見込みがない。

指定管理業務進捗管理

1. 業務概要

指定管理業務	①パートナーシップ活動支援センターの運営に関する業務 ②施設の管理及び運営に関する業務
目的	市民と行政のパートナーシップによるまちづくり及び生涯学習活動の推進
対象	南地区住民及び施設利用者(市外居住者を含む)
手段	①パートナーシップ活動支援センターの運営に関する業務 ・パートナーシップによるまちづくりに関する業務 ・天体観測事業運営業務 ・コミュニティ運営協議会との共働に関する業務 ②施設の管理及び運営に関する業務 ・施設の運営に関する業務(受付案内、施設貸出等) ・施設等維持管理業務
期待される成果	①パートナーシップによるまちづくり及び生涯学習活動の活性化 ②施設の維持管理

2. 成果の状況(アウトプット、アウトカム)

	指標名	単位	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標①	市民公益活動促進 プラットフォーム事業 ・個人登録者数 (累計)	人	6,050	1,700	4,500	5,000	5,700	6,050
				3,857	4,995	6,254	8,059	9,095
活動指標②	地域交流等を目的と したイベント・事業数	件	27	-	20	20	20	20
				6	19	21	27	34
成果指標①	市民公益活動促進 プラットフォーム事業 ・利用登録者の 活動数	件	30,250	9,100	18,000	24,800	28,500	30,250
				17,901	24,712	26,786	37,074	43,656
成果指標②	コミュニティセンター 年間利用者数	人	458,000	-	-	-	420,000	440,000
				408,008	405,727	450,813	457,810	458,000
上記指標 に表れない 成果等	①パートナーシップによるまちづくり及び生涯学習活動の活性化 ・まちづくりに関する講座(地域力アップ講座)の開催 令和7年度実績: Canva講座、ボランティア受入講座など、現在の地域課題解決に向けた講座を開催した ②施設の維持管理 ・コミュニティセンター新規利用登録件数(伸び率) 令和6年度: 432件、令和7年度: 513件 伸び率118.8% ※件数及び伸び率は4コミュニティセンター全体							

※4コミュニティセンター全体で目標値を設定しているため、上記の目標値及び実績値は4コミュニティセンター全体のものです。また、見え消し分は、当初目標値です。

3. 担当課所見

担当課 評価	コロナ禍の影響による臨時休館がなくなった令和4年度から、少しずつ地域活動が復活していく中で、周知啓発活動や団体の活動支援などに注力したことにより、特に令和5年度からは各事業の登録者数や参加者数の増加に繋がっている。 また、施設の利用者数についても、様々なイベントの企画・実施や利用者増に向けた情報発信等により、コロナ禍前の水準まで回復している。 さらには、積極的に先進地視察等を行っており、職員一人ひとりの企画力、共働力、調整力などのスキル向上につながり、ひいては、事業の質の向上にもつながっている。 なお、上記指標は令和7年度、8年度(令和8年度の目標値をそれぞれ、活動指標①を6,400人から11,000人、活動指標②を27件から34件、成果指標②を460,000人から480,000人)に上方修正を行っており、予想を大きく上回るペースで成果を上げている。 これらは現指定管理期間において大きく評価できる点の1つであると考える。
-----------	---

利用者満足度(利用者アンケートより)

サンプル数: 131

■総合的評価(満足度)

①【施設の評価】満足度総合評価: 1.25 点



		アンケート結果より				
		①	②	③	④	合計 (a)
①情報の入手しやすさ	非常に満足(2点)	35	69	74	59	237 (46%)
②施設のアクセスの利便性	やや満足(1点)	52	47	50	43	192 (37%)
③施設の清潔さ	どちらでもない(0点)	37	11	6	16	70 (14%)
④設備の整備情報	やや不満(-1点)	0	1	1	10	12 (2%)
※R7年度の1年間において、 開館期間・時間に関する クレーム等は特になし	かなり不満(-2点)	1	1	0	2	4 (1%)
無回答(点数なし)		6	2	4	1	13
有効回答数合計 (※無回答を除いた数)		125	129	131	130	515

※満足度

$$\begin{aligned}
 &= (a) \times \text{各項目の点数} \div \text{有効回答数} \\
 &= (237 \times 2点 + 192 \times 1点 + 70 \times 0点 + 12 \times -1点 + 4 \times -2点) \div 515 \\
 &= \underline{\underline{1.25}}
 \end{aligned}$$

②【サービスの評価】満足度総合評価: 1.08 点

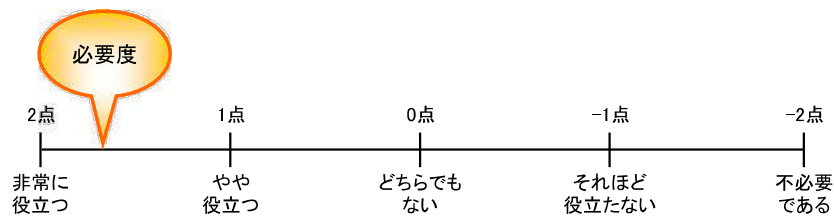


		アンケート結果より				
		①	②	③	④	合計 (a)
①利用手続きの簡便さ	非常に満足(2点)	37	58	35	44	174 (35%)
②基本的なサービス	やや満足(1点)	51	55	51	43	200 (40%)
③イベントなどの付加的サービス	どちらでもない(0点)	30	12	42	34	118 (24%)
④利用料金の適切さ	やや不満(-1点)	6	1	0	2	9 (2%)
	かなり不満(-2点)	0	0	0	0	0 (0%)
無回答(点数なし)		7	5	3	8	23
有効回答数合計 (※無回答を除いた数)		124	126	128	123	501

※満足度

$$\begin{aligned}
 &= (a) \times \text{各項目の点数} \div \text{有効回答数} \\
 &= (174 \times 2点 + 200 \times 1点 + 118 \times 0点 + 9 \times -1点 + 0 \times -2点) \div 501 \\
 &= \underline{\underline{1.08}}
 \end{aligned}$$

■総合的評価(必要度): 1.62 点



	アンケート 結果より 人数 (a)	
非常に役立つ(2点)	87	(70%)
やや役立つ(1点)	31	(25%)
どちらでもない(0点)	6	(5%)
それほど役立たない(-1点)	0	(0%)
不必要である(-2点)	1	(1%)
無回答(点数なし)	6	
有効回答数合計 (※無回答を除いた数)	125	

※必要度

= (a) × 各項目の点数 ÷ 有効回答数

= (87 × 2点 + 31 × 1点 + 6 × 0点 + 0 × -1点 + 1 × -2点) ÷ 125

= 1.62

【別添5】

施設の管理運営に関する評価シート

基本事項	No.	施設名称		部(局)名	課(室)名		
		中央コミュニティセンター		地域創造部	地域行政センター統括課		
	指定管理者名称			指定管理者の所在地			
	NPO法人共働のまち大野城			大野城市南ヶ丘五丁目9番1号			
	総合計画における位置づけ	ライフステージ	全世代に向けて(コミュニティ)				
		方針	地域と行政が共働し、「まどか」なまちをつくる				
		取組	公益活動の活性化				
施設種類	文教施設	指定期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度		選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	
管理者種類	☐ 市内の企業 ☐ 市外の企業 ☒ NPO、ボランティア団体 ☐ 自治会等コミュニティ組織 ☐ 財団法人・社団法人・社会福祉法人、医療法人、学校法人等 ☐ 公的団体(区など)						

利用状況	事業内容	1. パートナースHIP活動支援センターの運営 (1)共働事業の運営 (2)中間支援組織機能 2. 施設の管理及び運営 (1)施設の管理 (2)施設、備品等貸出業務
	利用者数	施設利用者 142,556人 ①ふれあいホール 42,306人 ②多目的室 21,562人 ③視聴覚室 6,290人 ④研修室 22,279人 ⑤交流室 9,606人 ⑥談話室 8,454人 ⑦個人使用 12,781人 ⑧調理コーナー 39人 ⑨その他 19,278人 ※その他…学習コーナー、ロビー

収支状況	指定管理者の収入	総額	52,833 千円	(内訳) (指定管理者)交付金 44,129 千円 利用料金収入 7,086 千円 自主事業収入 992 千円 その他収入 626 千円		
	指定管理者の支出	総額	53,583 千円	(内訳) 人件費 30,696 千円 事務費 7,231 千円 管理費 15,538 千円 自主事業費 118 千円		
	当期純利益	△ 750 千円	前期繰越損益	33,772 千円	当期末処理損益	1,087 千円
	※前期繰越損益及び当期末処理損益は4コミュニティセンターの合計額					

チェックシート結果 (自動表示)	166.3 点 / 200.0 点 →		総合評価 (自動表示)	S	達成率 S:80%以上 A:60%以上 B:40%以上 C:40%未満
	施設の維持管理	83.8 / 100.0	施設サービス	45.0 / 50.0	業務運営体制
利用者満足度 【最高点2点、最低点-2点】 (自動表示)	総合的評価 (満足度)	施設の評価	1.12 点	総合的評価 (必要度)	1.67 点
改善点 (不適切な部分及び改善内容等を記述)	施設の入口からカウンターが見えづらいレイアウトとなっており、利用者の動線がスムーズではないため、多くの利用者が迷っている姿が度々見受けられていた。そのため、令和7年度末に財産管理課から技術的な助言を受けたことから、掲示板やパーティションのレイアウトを工夫し、進路が分かりやすい配置に改善するよう、その検討に着手している。				
改善手順・期間	財産管理課からの助言をもとに、動線及びレイアウトを検討し、6月末までに掲示板等の配置換えを行い、より来館者にとって分かりやすく使いやすい施設となるように努める。				

施設の管理運営に関するチェック項目

評価対象		配点	評価の視点・項目	確認方法	評価	点数 (自動計算)
施設の 維持管理 内容	協定遵守	20	・ 協定に定めた業務が、適正な水準で確実に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	15.00 / 20.0
	法令等遵守	10	・ 法令等の改正への対応や通知等の取り扱いが適切か ・ 法令等遵守に関するマニュアル等が整備されているか ・ 法令等遵守のための職員研修が計画的に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	7.50 / 10.0
	個人情報の保護	5	・ 法令等に基づき、個人情報の取り扱いが適切か ・ 個人情報保護に関するマニュアル等が整備されているか ・ 個人情報保護のための職員研修が計画的に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	3.75 / 5.0
	公金処理	10	・ 定められた料金を適正に収受しているか ・ 利用料金の還付や減免処理など適切に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	3.75 / 5.0
	利用許可	5	・ 利用許可又は不許可は適切に行われているか ・ 利用者から利用許可に関する苦情等がないか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	7.50 / 10.0
	安全管理	15	・ 安全管理のための行動計画やマニュアル等が整備されているか ・ それらに沿った安全対策が適切に実施されているか ・ 防災訓練等が計画的に実施されているか ・ 業務従事者に対する、安全教育が適切に実施されているか ・ 職員不在時の警備体制や鍵の管理が適切か 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 毎年行っている消防訓練や防災訓練に加え、新たに不審者対応研修等を実施し、危険事案に対するフローの見直しを行って	書類・ヒアリング	S	15.00 / 15.0
	衛生管理	15	・ 衛生管理に向けた行動計画やマニュアル等が整備されているか ・ それらに沿った衛生管理が適切に実施されているか ・ 衛生管理の責任者が明確で、衛生管理に必要な人員、有資格者などが適正に配置されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	11.25 / 15.0
	美化清掃	10	・ 整理整頓・清掃がなされ、美観を損なっていないか ・ 施設、設備、備品等の保守点検業務は適切に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 各施設担当から成る「予防保全型維持管理委員会」を令和6年度に立ち上げ、日々の保守点検に加え、施設の点検を実施し改善につなげている。	現地視察	S	10.00 / 10.0
施設サ ービス 内容	環境配慮	10	・ 公害防止、省エネへの取組が積極的に実施されているか ・ 廃棄物処理が適正に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 ゴミの分別や業者と共働で行うリサイクル活動にも注力し、市の ごみ減量・リサイクル優良事業所に選定された。	書類・ヒアリング	S	10.00 / 10.0
	利用者範囲	5	・ 事業の目的と比較して、利用者の範囲は適切か ・ 広範で適切な広報活動を実施しているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	3.75 / 5.0
	サービス内容	15	・ 利用者数を増加させるための努力が実施されているか ・ 行政が直営する場合と比べて、サービス内容の拡大などサービスの質を高める工夫があるか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 駐車場が満車になることを想定し、利用者に乗り合わせの協力を依頼したり、予約調整や行政に要望するなどして問題解決を図っていた。	書類・ヒアリング	A	11.25 / 15.0
	職員育成	10	・ 職員の研修体制が整備されているか ・ 職員は、業務に即した資格や専門知識を有しているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 法人内における積極的な研修のほか、他自治体の施設や団体への視察を積極的に行っており、職員のスキルや意欲向上につながるとともに、各種指定管理業務の実績(達成度)も伸びて	書類・ヒアリング	S	10.00 / 10.0

施設サービス内容	ニーズの把握・活用	10	・ 利用者の意見や要望が、アンケート等で把握されているか ・ アンケートや住民等の苦情を、業務改善に役立てているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 利用者の保護者から学習スペース利用のお礼のお手紙をいただいたことがあった。また、他コミでの意見を参考に問題発生を未然に防ぎ快適に利用できる施設となるようお客様意識を持った業務改善がなされていた。	書類・ヒアリング	S	10.00 / 10.0
	地域協働	10	・ 地域の社会活動へ参加しているか ・ 地域に貢献する事業を実施しているか ・ 地元からの雇用、物資調達等を積極的に実施しているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 日頃からコミ運協の事業に対して協力し、地域の団体やボランティアなどからの相談対応を丁寧に行った。地域住民を雇用し、地元業者への発注も行われていた。	現地視察	S	10.00 / 10.0
実施体制等	実施体制	10	・ 統括責任者が明確で、責任の所在が明らかであるか ・ 業務遂行上に必要な職員数が配置されているか ・ 経理などの各種帳簿が作成され、適切に保管されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	7.50 / 10.0
	市との連絡	10	・ 年次(期別・月次)報告等の報告が、市に適切に提出されているか ・ 代表者の変更など重要事項の変更の届出が実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	7.50 / 10.0
	緊急時対応	5	・ 緊急時の連絡体制、初動体制が整備されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	3.75 / 5.0
	再委託	5	・ 指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか ・ 再委託する場合に適切な届出が実施されているか ・ 再委託先から業務報告を受けるなど、再委託先の管理は適切か 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	3.75 / 5.0
	経営状況	10	・ 直近の財務諸表等が提出され、財務状況に不安はないか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	7.50 / 10.0
	収支妥当性	10	・ 収支積算が妥当で、業務改善や経費削減の工夫があるか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	7.50 / 10.0
合計		200 点満点(「該当なし」がない場合) ※小数点第二位四捨五入				166.3 / 200.0
所見		中央コミュニティセンターは子どもの利用が多く、夏休みなどの時期や放課後の時間帯によっては施設の一部が飽和状態となっている状況が度々起きていたが、大きな事故や利用者同士のトラブルが発生していない。これは、指定管理者において職員一人一人の意識付けはもとより、不測の事態を想定した対応を細かくルール化するなどの適切な業務管理によるものと思料する。今後も、適正な施設管理と適切な事業運営を行えるように、さらなる改善を続けていただきたい。				

次頁チェック項目の評価(S・A・B・C)の意味

- S** 業務目的や仕様、利用者評価等をもとに、期待水準より効率的・効果的に実施されており、高く評価できる。
- A** 業務目的や仕様、利用者評価等をもとに、期待水準どおりに実施されている。
- B** 概ね適切に実施されている。一部に不適切な部分を確認されたが、現在改善中あるいは既に改善済である。
- C** 不適切な部分を確認されたため改善を指示したが、未対応あるいは改善の見込がない。

指定管理業務進捗管理

1. 業務概要

指定管理業務	①パートナーシップ活動支援センターの運営に関する業務 ②施設の管理及び運営に関する業務
目的	市民と行政のパートナーシップによるまちづくり及び生涯学習活動の推進
対象	中央地区住民及び施設利用者(市外居住者を含む)
手段	①パートナーシップ活動支援センターの運営に関する業務 ・パートナーシップによるまちづくりに関する業務 ・天体観測事業運営業務 ・コミュニティ運営業議会との共働に関する業務 ②施設の管理及び運営に関する業務 ・施設の運営に関する業務(受付案内、施設貸出等) ・施設等維持管理業務
期待される成果	①パートナーシップによるまちづくり及び生涯学習活動の活性化 ②施設の維持管理

2. 成果の状況(アウトプット、アウトカム)

	指標名	単位	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動 指標①	市民公益活動促進 プラットフォーム事業 ・個人登録者数 (累計)	人	6,050	1,700	4,500	5,000	5,700	6,050
				3,857	4,995	6,254	8,059	9,095
活動 指標②	地域交流等を目的と したイベント・事業数	件	27	-	20	20	20	20
				6	19	21	27	34
成果 指標①	市民公益活動促進 プラットフォーム事業 ・利用登録者の 活動数	件	30,250	9,100	18,000	24,800	28,500	30,250
				17,901	24,712	26,786	37,074	43,656
成果 指標②	コミュニティセンター 年間利用者数	人	458,000	-	-	-	420,000	440,000
				408,008	405,727	450,813	457,000	458,000
上記指標 に表れない 成果等	①パートナーシップによるまちづくり及び生涯学習活動の活性化 ・まちづくりに関する講座(地域力アップ講座)の開催 令和7年度実績: Canva講座、ボランティア受入講座など、現在の地域課 題解決に向けた講座を開催した ②施設の維持管理 ・コミュニティセンター新規利用登録件数(伸び率) 令和6年度: 432件、令和7年度: 513件 伸び率118.8% ※件数及び伸び率は4コミュニティセンター全体							

※4コミュニティセンター全体で目標値を設定しているため、上記の目標値及び実績値は4コミュニティセンター全体のものです。また、見え消し分は、当初目標値です。

3. 担当課所見

担当課 評価	コロナ禍の影響による臨時休館がなくなった令和4年度から、少しずつ地域活動が復活していく中で、周知啓発活動や団体の活動支援などに注力したことにより、特に令和5年度からは各事業の登録者数や参加者数の増加に繋がっている。 また、施設の利用者数についても、様々なイベントの企画・実施や利用者増に向けた情報発信等により、コロナ禍前の水準まで回復している。 さらには、積極的に先進地視察等を行っており、職員一人ひとりの企画力、共働力、調整力などのスキル向上につながり、ひいては、事業の質の向上にもつながっている。 なお、上記指標は令和7年度、8年度(令和8年度の目標値をそれぞれ、活動指標①を6,400人から11,000人、活動指標②を27件から34件、成果指標②を460,000人から480,000人)に上方修正を行っており、予想を大きく上回るペースで成果を上げている。 これらは現指定管理期間において大きく評価できる点の1つであると考えている。
-----------	---

利用者満足度(利用者アンケートより)

サンプル数: 171

■総合的評価(満足度)

①【施設の評価】満足度総合評価: 1.12 点



		アンケート結果より					
		①	②	③	④	合計(a)	
①情報の入手しやすさ	非常に満足(2点)	42	64	78	64	248	(37%)
②施設のアクセスの利便性	やや満足(1点)	72	66	78	76	292	(43%)
③施設の清潔さ	どちらでもない(0点)	44	28	13	22	107	(16%)
④設備の整備情報	やや不満(-1点)	7	8	0	8	23	(3%)
※R7年度の1年間において、開館期間・時間に関するクレーム等は特になし							
	かなり不満(-2点)	1	3	0	1	5	(1%)
	無回答(点数なし)	5	2	4	0	11	
有効回答数合計(※無回答を除いた数)		166	169	169	171	675	

※満足度

$$\begin{aligned}
 &= (a) \times \text{各項目の点数} \div \text{有効回答数} \\
 &= (248 \times 2点 + 292 \times 1点 + 107 \times 0点 + 23 \times -1点 + 5 \times -2点) \div 675 \\
 &= \underline{\underline{1.12}}
 \end{aligned}$$

②【サービスの評価】満足度総合評価: 1.11 点

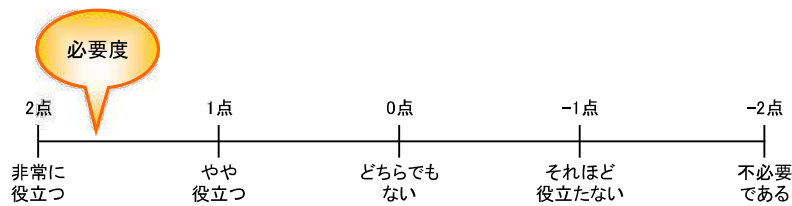


		アンケート結果より					
		①	②	③	④	合計(a)	
①利用手続きの簡便さ	非常に満足(2点)	60	74	55	64	253	(38%)
②基本的なサービス	やや満足(1点)	72	67	63	57	259	(38%)
③イベントなどの付加的サービス	どちらでもない(0点)	31	28	49	41	149	(22%)
④利用料金の適切さ	やや不満(-1点)	4	2	3	2	11	(2%)
	かなり不満(-2点)	0	0	0	2	2	(0%)
	無回答(点数なし)	4	0	1	5	10	
有効回答数合計(※無回答を除いた数)		167	171	170	166	674	

※満足度

$$\begin{aligned}
 &= (a) \times \text{各項目の点数} \div \text{有効回答数} \\
 &= (253 \times 2点 + 259 \times 1点 + 149 \times 0点 + 11 \times -1点 + 2 \times -2点) \div 674 \\
 &= \underline{\underline{1.11}}
 \end{aligned}$$

■総合的評価(必要度): 1.67 点



	アンケート 結果より 人数 (a)	
非常に役立つ(2点)	113	(70%)
やや役立つ(1点)	44	(27%)
どちらでもない(0点)	5	(3%)
それほど役立たない(-1点)	0	(0%)
不必要である(-2点)	0	(0%)
無回答(点数なし)	9	
有効回答数合計 (※無回答を除いた数)	162	

※必要度

= (a) × 各項目の点数 ÷ 有効回答数

= (113 × 2点 + 44 × 1点 + 5 × 0点 + 0 × -1点 + 0 × -2点) ÷ 162

= 1.67

【別添5】

施設の管理運営に関する評価シート

基本事項	No.	施設名称		部(局)名	課(室)名	
		東コミュニティセンター		地域創造部	地域行政センター統括課	
	指定管理者名称			指定管理者の所在地		
	NPO法人共働のまち大野城			大野城市南ヶ丘五丁目9番1号		
	総合計画における位置づけ	ライフステージ	全世代に向けて(コミュニティ)			
		方針	地域と行政が共働し、「まどか」なまちをつくる			
		取組	公益活動の活性化			
施設種類	文教施設	指定期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度	選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	
管理者種類	☐ 市内の企業 ☐ 市外の企業 ☒ NPO、ボランティア団体 ☐ 自治会等コミュニティ組織 ☐ 財団法人・社団法人・社会福祉法人、医療法人、学校法人等 ☐ 公的団体(区など)					

利用状況	事業内容	1. パートナーシップ活動支援センターの運営 (1) 共働事業の運営 (2) 中間支援組織機能 2. 施設の管理及び運営 (1) 施設の管理 (2) 施設、備品等貸出業務
	利用者数	施設利用者 106,054人 ①ふれあいホール 39,523人 ②多目的室 20,598人 ③視聴覚室 4,254人 ④研修室 9,806人 ⑤交流室 3,843人 ⑥談話室 2,937人 ⑦個人使用 14,351人 ⑧調理コーナー 179人 ⑨その他 10,563人 ※その他…学習コーナー、ロビー

収 支 状 況	指定管理者 の収入	総額 58,990 千円		(内訳) (指定管理者) 交付金		51,638 千円
				利用料金収入		5,735 千円
				自主事業収入		991 千円
				その他収入		626 千円
	指定管理者 の支出	総額 57,669 千円		(内訳) 人件費		34,398 千円
				事務費		6,983 千円
				管理費		16,170 千円
				自主事業費		118 千円
	当期純利益	1,321 千円	前期繰越損益	33,772 千円	当期末処理損益	1,087 千円

※前期繰越損益及び当期末処理損益は4コミュニティセンターの合計額

チェックシート結果 (自動表示)	163.8 点 / 200.0 点		→	総合評価 (自動表示)	S	達成率 S:80%以上 A:60%以上 B:40%以上 C:40%未満
	施設の維持管理	83.8 / 100.0	施設サービス	42.5 / 50.0	業務運営体制	37.5 / 50.0
利用者満足度 【最高点2点、最低点-2点】 (自動表示)	総合的評価 (満足度)	施設の評価	1.15 点	総合的評価 (必要度)	1.67 点	
		サービスの評価	1.02 点			
改善点 (不適切な部分 及び改善内容等 を記述)	近年全国的に増加しているカスタマーハラスメントや不審人物が館内に侵入した場合の対応研修を新たに実施し、対応フローを更新するなど、危険事案に対する対策が講じられている。特に不審者対応研修は継続していくことに意義があるため、今後も引き続き行うとともに、その他のイレギュラー対応に関するマニュアルやフローの見直しも併せて行っていく必要がある。					
改善手順・期間	施設担当者会議にて、実際に各コミュニティセンターで発生した事案ごとに振り返りを行い、イレギュラー対応に適切に対応できるよう、市と協議をしながら、常にマニュアルやフローの見直しを進め、更に安全な施設運営に努めていく。					

施設の管理運営に関するチェック項目

評価対象	配点	評価の視点・項目	確認方法	評価	点数 (自動計算)
施設の維持管理内容	協定遵守	20 ・協定に定めた業務が、適正な水準で確実に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	15.00 / 20.0
	法令等遵守	10 ・法令等の改正への対応や通知等の取り扱いが適切か ・法令等遵守に関するマニュアル等が整備されているか ・法令等遵守のための職員研修が計画的に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	7.50 / 10.0
	個人情報の保護	5 ・法令等に基づき、個人情報の取り扱いが適切か ・個人情報保護に関するマニュアル等が整備されているか ・個人情報保護のための職員研修が計画的に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	3.75 / 5.0
	公金処理	10 ・定められた料金を適正に収受しているか ・利用料金の還付や減免処理など適切に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	3.75 / 5.0
	利用許可	5 ・利用許可又は不許可は適切に行われているか ・利用者から利用許可に関する苦情等がないか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	7.50 / 10.0
	安全管理	15 ・安全管理のための行動計画やマニュアル等が整備されているか ・それらに沿った安全対策が適切に実施されているか ・防災訓練等が計画的に実施されているか ・業務従事者に対する、安全教育が適切に実施されているか ・職員不在時の警備体制や鍵の管理が適切か 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 - 毎年行っている消防訓練や防災訓練に加え、新たに不審者対応研修等を実施し、危険事案に対するフローの見直しを行って	書類・ヒアリング	S	15.00 / 15.0
	衛生管理	15 ・衛生管理に向けた行動計画やマニュアル等が整備されているか ・それらに沿った衛生管理が適切に実施されているか ・衛生管理の責任者が明確で、衛生管理に必要な人員、有資格者などが適正に配置されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	11.25 / 15.0
	美化清掃	10 ・整理整頓・清掃がなされ、美観を損なっていないか ・施設、設備、備品等の保守点検業務は適切に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 - 各施設担当から成る「予防保全型維持管理委員会」を令和6年度に立ち上げ、日々の保守点検に加え、施設の点検を実施し改善につなげている。	現地視察	S	10.00 / 10.0
	環境配慮	10 ・公害防止、省エネへの取組が積極的に実施されているか ・廃棄物処理が適正に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 - ゴミの分別や業者と共働で行うリサイクル活動にも注力し、市のゴミ減量・リサイクル優良事業所に選定された。	書類・ヒアリング	S	10.00 / 10.0
施設サービス	利用者範囲	5 ・事業の目的と比較して、利用者の範囲は適切か ・広範で適切な広報活動を実施しているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	3.75 / 5.0
	サービス内容	15 ・利用者数を増加させるための努力が実施されているか ・行政が直営する場合と比べて、サービス内容の拡大などサービスの質を高める工夫があるか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	11.25 / 15.0

施設サービス内容	職員育成	10	・ 職員の研修体制が整備されているか ・ 職員は、業務に即した資格や専門知識を有しているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 法人内における積極的な研修のほか、他自治体の施設や団体への視察を積極的に行っており、職員のスキルや意欲向上につながるとともに、各種指定管理業務の実績（達成度）も伸びて	書類・ヒアリング	S	10.00 / 10.0
	ニーズの把握・活用	10	・ 利用者の意見や要望が、アンケート等で把握されているか ・ アンケートや住民等の苦情を、業務改善に役立てているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	7.50 / 10.0
	地域協働	10	・ 地元の社会活動へ参加しているか ・ 地域に貢献する事業を実施しているか ・ 地元からの雇用、物資調達等を積極的に実施しているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 東地区コミュニティ運営協議会の運営補助や共働にも尽力しているほか、各区からの相談なども積極的に対応している。	書類・ヒアリング	S	10.00 / 10.0
実施体制等	実施体制	10	・ 統括責任者が明確で、責任の所在が明らかであるか ・ 業務遂行上に必要な職員数が配置されているか ・ 経理などの各種帳簿が作成され、適切に保管されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	7.50 / 10.0
	市との連絡	10	・ 年次（期別・月次）報告等の報告が、市に適切に提出されているか ・ 代表者の変更など重要事項の変更の届出が実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	7.50 / 10.0
	緊急時対応	5	・ 緊急時の連絡体制、初動体制が整備されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	3.75 / 5.0
	再委託	5	・ 指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか ・ 再委託する場合に適切な届出が実施されているか ・ 再委託先から業務報告を受けるなど、再委託先の管理は適切か 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	3.75 / 5.0
	経営状況	10	・ 直近の財務諸表等が提出され、財務状況に不安はないか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	7.50 / 10.0
	収支妥当性	10	・ 収支積算が妥当で、業務改善や経費削減の工夫があるか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	7.50 / 10.0
合計		200 点満点（「該当なし」がない場合） ※小数点第二位四捨五入				163.8 / 200.0
所見		施設の団体利用が少ない点を、「個人使用の時間を多く取れる」という強みに変え、個人利用者数を年々伸ばすことが出来ている点や、職員の意欲が高く、自主的に館内の装飾を行い、利用者満足度の向上に貢献している点は、大きく評価できる。今後は、2階各部屋（研修室、談話室等）の利用者数を伸ばすための対応策や情報発信についても、検討していただきたい。				

次頁チェック項目の評価（S・A・B・C）の意味

S	業務目的や仕様、利用者評価等をもとに、期待水準より効率的・効果的に実施されており、高く評価できる。
A	業務目的や仕様、利用者評価等をもとに、期待水準どおりに実施されている。
B	概ね適切に実施されている。一部に不適切な部分を確認されたが、現在改善中あるいは既に改善済である。
C	不適切な部分を確認されたため改善を指示したが、未対応あるいは改善の見込みがない。

指定管理業務進捗管理

1. 業務概要

指定管理業務	①パートナーシップ活動支援センターの運営に関する業務 ②施設の管理及び運営に関する業務
目的	市民と行政のパートナーシップによるまちづくり及び生涯学習活動の推進
対象	東地区住民及び施設利用者(市外居住者を含む)
手段	①パートナーシップ活動支援センターの運営に関する業務 ・パートナーシップによるまちづくりに関する業務 ・天体観測事業運営業務 ・コミュニティ運営業議会との共働に関する業務 ②施設の管理及び運営に関する業務 ・施設の運営に関する業務(受付案内、施設貸出等) ・施設等維持管理業務
期待される成果	①パートナーシップによるまちづくり及び生涯学習活動の活性化 ②施設の維持管理

2. 成果の状況(アウトプット、アウトカム)

	指標名	単位	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動 指標①	市民公益活動促進 プラットフォーム事業 ・個人登録者数 (累計)	人	6,050	1,700	4,500	5,000	5,700	6,050
				3,857	4,995	6,254	8,059	9,095
活動 指標②	地域交流等を目的と したイベント・事業数	件	27	－	20	20	20 27	20 27
				6	19	21	27	34
成果 指標①	市民公益活動促進 プラットフォーム事業 ・利用登録者の 活動数	件	30,250	9,100	18,000	24,800	28,500	30,250
				17,901	24,712	26,786	37,074	43,656
成果 指標②	コミュニティセンター 年間利用者数	人	458,000	－	－	－	420,000 457,000	440,000 458,000
				408,008	405,727	450,813	457,810	547,717
上記指標 に表れない 成果等	①パートナーシップによるまちづくり及び生涯学習活動の活性化 ・まちづくりに関する講座(地域力アップ講座)の開催 令和7年度実績: Canva講座、ボランティア受入講座など、現在の地域課題解決に向けた講座を開催した ②施設の維持管理 ・コミュニティセンター新規利用登録件数(伸び率) 令和6年度: 432件、令和7年度: 513件 伸び率118.8% ※件数及び伸び率は4コミュニティセンター全体							

※4コミュニティセンター全体で目標値を設定しているため、上記の目標値及び実績値は4コミュニティセンター全体のものです。また、見え消し分は、当初目標値です。

3. 担当課所見

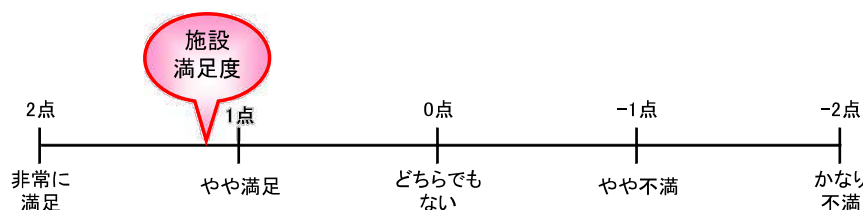
担当課 評価	コロナ禍の影響による臨時休館がなくなった令和4年度から、少しずつ地域活動が復活していく中で、周知啓発活動や団体の活動支援などに注力したことにより、特に令和5年度からは各事業の登録者数や参加者数の増加に繋がっている。 また、施設の利用者数についても、様々なイベントの企画・実施や利用者増に向けた情報発信等により、コロナ禍前の水準まで回復している。 さらには、積極的に先進地視察等を行っており、職員一人ひとりの企画力、共働力、調整力などのスキル向上につながり、ひいては、事業の質の向上にもつながっている。 なお、上記指標は令和7年度、8年度(令和8年度の目標値をそれぞれ、活動指標①を6,400人から11,000人、活動指標②を27件から34件、成果指標②を460,000人から480,000人)に上方修正を行っており、予想を大きく上回るペースで成果を上げている。 これらは現指定管理期間において大きく評価できる点の1つであると考える。
-----------	---

利用者満足度(利用者アンケートより)

サンプル数: 210

■総合的評価(満足度)

①【施設の評価】満足度総合評価: 1.15 点



- ①情報の入手しやすさ
- ②施設のアクセスの利便性
- ③施設の清潔さ
- ④設備の整備情報

※R7年度の1年間において、
開館期間・時間に関する
クレーム等は特になし

アンケート結果より					
	①	②	③	④	合計 (a)
非常に満足(2点)	53	77	113	99	342
やや満足(1点)	75	76	78	75	304
どちらでもない(0点)	76	41	18	34	169
やや不満(-1点)	4	13	1	1	19
かなり不満(-2点)	0	3	0	0	3
無回答(点数なし)	2	0	2	1	5
有効回答数合計 (※無回答を除いた数)	208	210	210	209	837

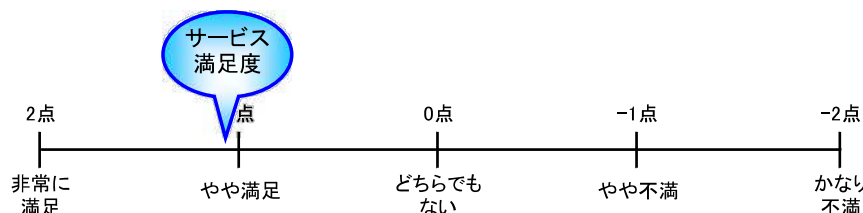
※満足度

= (a) × 各項目の点数 ÷ 有効回答数

= (342 × 2点 + 304 × 1点 + 169 × 0点 + 19 × -1点 + 3 × -2点) ÷ 837

= 1.15

②【サービスの評価】満足度総合評価: 1.02 点



- ①利用手続きの簡便さ
- ②基本的なサービス
- ③イベントなどの付加的サービス
- ④利用料金の適切さ

アンケート結果より					
	①	②	③	④	合計 (a)
非常に満足(2点)	74	93	65	73	305
やや満足(1点)	64	71	65	58	258
どちらでもない(0点)	65	41	74	68	248
やや不満(-1点)	5	3	3	6	17
かなり不満(-2点)	0	0	0	2	2
無回答(点数なし)	2	2	3	3	10
有効回答数合計 (※無回答を除いた数)	208	208	207	207	830

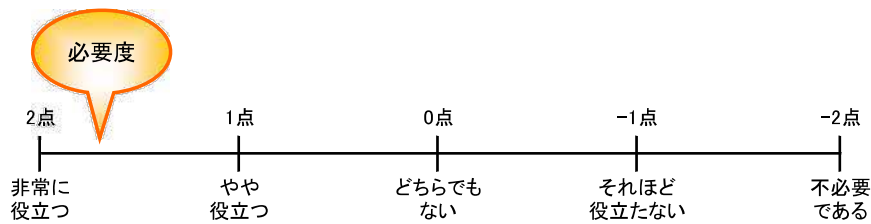
※満足度

= (a) × 各項目の点数 ÷ 有効回答数

= (305 × 2点 + 258 × 1点 + 248 × 0点 + 17 × -1点 + 2 × -2点) ÷ 830

= 1.02

■総合的評価(必要度): 1.67 点



	アンケート 結果より 人数 (a)	
非常に役立つ(2点)	144	(70%)
やや役立つ(1点)	57	(28%)
どちらでもない(0点)	6	(3%)
それほど役立たない(-1点)	0	(0%)
不必要である(-2点)	0	(0%)
無回答(点数なし)	3	
有効回答数合計 (※無回答を除いた数)	207	

※必要度

= (a) × 各項目の点数 ÷ 有効回答数

= (144 × 2点 + 57 × 1点 + 6 × 0点 + 0 × -1点 + 0 × -2点) ÷ 207

= 1.67

【別添5】

施設の管理運営に関する評価シート

基本事項	No.	施設名称		部(局)名	課(室)名	
		北コミュニティセンター		地域創造部	地域行政センター統括課	
	指定管理者名称			指定管理者の所在地		
	NPO法人共働のまち大野城			大野城市南ヶ丘五丁目9番1号		
	総合計画における位置づけ	ライフステージ	全世代に向けて(コミュニティ)			
		方針	地域と行政が共働し、「まどか」なまちをつくる			
		取組	公益活動の活性化			
施設種類	文教施設	指定期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度	選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	
管理者種類	☐ 市内の企業 ☐ 市外の企業 ☒ NPO、ボランティア団体 ☐ 自治会等コミュニティ組織 ☐ 財団法人・社団法人・社会福祉法人、医療法人、学校法人等 ☐ 公的団体(区など)					

利用状況	事業内容	1. パートナーシップ活動支援センターの運営 (1) 共働事業の運営 (2) 中間支援組織機能 2. 施設の管理及び運営 (1) 施設の管理 (2) 施設、備品等貸出業務
	利用者数	施設利用者 123,254人 ①ふれあいホール 37,755人 ②多目的室 24,198人 ③視聴覚室 10,203人 ④研修室 15,009人 ⑤交流室 6,009人 ⑥談話室 5,639人 ⑦個人使用 11,830人 ⑧調理コーナー 666人 ⑨スタードームまどか 1,335人 ⑩その他 10,610人 ※その他…学習コーナー、ロビー

収 支 状 況	指定管理者 の収入	総額 67,879 千円		(内訳) (指定管理者) 交付金		59,191 千円
				利用料金収入		7,069 千円
				自主事業収入		992 千円
				その他収入		627 千円
	指定管理者 の支出	総額 66,454 千円		(内訳) 人件費		36,649 千円
				事務費		7,920 千円
				管理費		21,767 千円
				自主事業費		118 千円
	当期純利益	1,424 千円	前期繰越損益	33,772 千円	当期末処理損益	1,087 千円

※前期繰越損益及び当期末処理損益は4コミュニティセンターの合計額

チェックシート結果 (自動表示)	163.8 点 / 200.0 点		→	総合評価 (自動表示)	S	達成率 S:80%以上 A:60%以上 B:40%以上 C:40%未満
	施設の維持管理	83.8 / 100.0				
利用者満足度 【最高点2点、最低点-2点】 (自動表示)	総合的評価 (満足度)	施設の評価	1.17 点	総合的評価 (必要度)	1.68 点	
		サービスの評価	1.22 点			
改善点 (不適切な部分 及び改善内容等 を記述)	施設利用者の増加及び室場の稼働率を上げるため、接遇研修を通じて職員による窓口での対応力を向上しているほか、館内装飾にも注力されている。 また、天体事業は、ホームページやSNS発信、ポスター、チラシなど、様々な形での事業PRにも努められているが、「天候により参加者数が大きく左右される」という課題があったため、令和8年度からは、参加者数を「スタードームまどかへの来館者数(館内での代替事業参加者数を含める)」と整理することで、天候に左右されにくいものに改めている。					
改善手順・期間	施設利用者の増加及び稼働率は、今後対応策を検討するとともに、接遇研修も引き続き行い、利用者満足度のさらなる向上を目指す。 また、天体事業は、さらなる広報活動及び他団体とのコラボレーションを実施するなど、常に魅力的な事業を実施することを検討し、より一層の事業内容の向上を図る。					

施設の管理運営に関するチェック項目

評価対象	配点	評価の視点・項目	確認方法	評価	点数 (自動計算)
施設の 維持管理 内容	協定遵守	20 ・ 協定に定めた業務が、適正な水準で確実に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	15.00 / 20.0
	法令等遵守	10 ・ 法令等の改正への対応や通知等の取り扱いが適切か ・ 法令等遵守に関するマニュアル等が整備されているか ・ 法令等遵守のための職員研修が計画的に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	7.50 / 10.0
	個人情報の保護	5 ・ 法令等に基づき、個人情報の取り扱いが適切か ・ 個人情報保護に関するマニュアル等が整備されているか ・ 個人情報保護のための職員研修が計画的に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	3.75 / 5.0
	公金処理	10 ・ 定められた料金を適正に収受しているか ・ 利用料金の還付や減免処理など適切に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	3.75 / 5.0
	利用許可	5 ・ 利用許可又は不許可は適切に行われているか ・ 利用者から利用許可に関する苦情等がないか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	7.50 / 10.0
	安全管理	15 ・ 安全管理のための行動計画やマニュアル等が整備されているか ・ それらに沿った安全対策が適切に実施されているか ・ 防災訓練等が計画的に実施されているか ・ 業務従事者に対する、安全教育が適切に実施されているか ・ 職員不在時の警備体制や鍵の管理が適切か 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 - 毎年行っている消防訓練や防災訓練に加え、新たに不審者対応研修等を実施し、危険事案に対するフローの見直しを行って	書類・ヒアリング	S	15.00 / 15.0
	衛生管理	15 ・ 衛生管理に向けた行動計画やマニュアル等が整備されているか ・ それらに沿った衛生管理が適切に実施されているか ・ 衛生管理の責任者が明確で、衛生管理に必要な人員、有資格者などが適正に配置されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 - 衛生管理の責任者が明確であり、衛生管理に必要な人員、有資格者などが適正に配置されている。	書類・ヒアリング	A	11.25 / 15.0
	美化清掃	10 ・ 整理整頓・清掃がなされ、美観を損なっていないか ・ 施設、設備、備品等の保守点検業務は適切に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 - 各施設担当から成る「予防保全型維持管理委員会」を令和6年度に立ち上げ、日々の保守点検に加え、施設の点検を実施し改善につなげている。	現地視察	S	10.00 / 10.0
	環境配慮	10 ・ 公害防止、省エネへの取組が積極的に実施されているか ・ 廃棄物処理が適正に実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 - ゴミの分別や業者と共働で行うリサイクル活動にも注力し、市のゴミ減量・リサイクル優良事業所に選定された。	書類・ヒアリング	S	10.00 / 10.0
施設サービス	利用者範囲	5 ・ 事業の目的と比較して、利用者の範囲は適切か ・ 広範で適切な広報活動を実施しているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	3.75 / 5.0
	サービス内容	15 ・ 利用者数を増加させるための努力が実施されているか ・ 行政が直営する場合と比べて、サービス内容の拡大などサービスの質を高める工夫があるか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	11.25 / 15.0

施設サービス内容	職員育成	10	・ 職員の研修体制が整備されているか ・ 職員は、業務に即した資格や専門知識を有しているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 法人内における積極的な研修のほか、他自治体の施設や団体への視察を積極的に行っており、職員のスキルや意欲向上につながるとともに、各種指定管理業務の実績（達成度）も伸びて	書類・ヒアリング	S	10.00 / 10.0
	ニーズの把握・活用	10	・ 利用者の意見や要望が、アンケート等で把握されているか ・ アンケートや住民等の苦情を、業務改善に役立てているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類・ヒアリング	A	7.50 / 10.0
	地域協働	10	・ 地元の社会活動へ参加しているか ・ 地域に貢献する事業を実施しているか ・ 地元からの雇用、物資調達等を積極的に実施しているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入 北地区コミュニティ運営協議会と連携して事業を行うほか、各区からの相談にも積極的に対応している。	書類・ヒアリング	S	10.00 / 10.0
実施体制等	実施体制	10	・ 統括責任者が明確で、責任の所在が明らかであるか ・ 業務遂行上に必要な職員数が配置されているか ・ 経理などの各種帳簿が作成され、適切に保管されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	7.50 / 10.0
	市との連絡	10	・ 年次（期別・月次）報告等の報告が、市に適切に提出されているか ・ 代表者の変更など重要事項の変更の届出が実施されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	7.50 / 10.0
	緊急時対応	5	・ 緊急時の連絡体制、初動体制が整備されているか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	3.75 / 5.0
	再委託	5	・ 指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか ・ 再委託する場合に適切な届出が実施されているか ・ 再委託先から業務報告を受けるなど、再委託先の管理は適切か 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	3.75 / 5.0
	経営状況	10	・ 直近の財務諸表等が提出され、財務状況に不安はないか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	7.50 / 10.0
	収支妥当性	10	・ 収支積算が妥当で、業務改善や経費削減の工夫があるか 【評価の理由】S・B・Cの場合は必ず記入	書類	A	7.50 / 10.0
	合計	200 点満点（「該当なし」がない場合） ※小数点第二位四捨五入				163.8 / 200.0
所見		令和7年度は選挙が複数あった影響があるものの、施設利用者数が4コミュニティセンター全体で50万人を超えており、更なる利用者数の増と稼働率の向上に努めていただきたい。また、年間を通して電話対応や窓口対応についても職員ひとりひとりが丁寧な対応を行われていた。さらには、令和8年度からのキャッシュレス決済を導入するなど利用者の利便性向上に向けて取組が行われている。				

次頁チェック項目の評価（S・A・B・C）の意味

- S** 業務目的や仕様、利用者評価等をもとに、期待水準より効率的・効果的に実施されており、高く評価できる。
- A** 業務目的や仕様、利用者評価等をもとに、期待水準どおりに実施されている。
- B** 概ね適切に実施されている。一部に不適切な部分が確認されたが、現在改善中あるいは既に改善済である。
- C** 不適切な部分が確認されたため改善を指示したが、未対応あるいは改善の見込みがない。

指定管理業務進捗管理

1. 業務概要

指定管理業務	①パートナーシップ活動支援センターの運営に関する業務 ②施設の管理及び運営に関する業務
目的	市民と行政のパートナーシップによるまちづくり及び生涯学習活動の推進
対象	北地区住民及び施設利用者(市外居住者を含む)
手段	①パートナーシップ活動支援センターの運営に関する業務 ・パートナーシップによるまちづくりに関する業務 ・天体観測事業運営業務 ・コミュニティ運営業議会との共働に関する業務 ②施設の管理及び運営に関する業務 ・施設の運営に関する業務(受付案内、施設貸出等) ・施設等維持管理業務
期待される成果	①パートナーシップによるまちづくり及び生涯学習活動の活性化 ②施設の維持管理

2. 成果の状況(アウトプット、アウトカム)

	指標名	単位	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動 指標①	市民公益活動促進 プラットフォーム事業 ・個人登録者数 (累計)	人	6,050	1,700	4,500	5,000	5,700	6,050
				3,857	4,995	6,254	8,059	9,095
活動 指標②	地域交流等を目的と したイベント・事業数	件	27	－	20	20	20 27	20 27
				6	19	21	27	34
成果 指標①	市民公益活動促進 プラットフォーム事業 ・利用登録者の 活動数	件	30,250	9,100	18,000	24,800	28,500	30,250
				17,901	24,712	26,786	37,074	43,656
成果 指標②	コミュニティセンター 年間利用者数	人	458,000	－	－	－	420,000 457,000	440,000 458,000
				408,008	405,727	450,813	457,810	547,717
上記指標 に表れない 成果等	①パートナーシップによるまちづくり及び生涯学習活動の活性化 ・まちづくりに関する講座(地域力アップ講座)の開催 令和7年度実績: Canva講座、ボランティア受入講座など、現在の地域課題解決に向けた講座を開催した ②施設の維持管理 ・コミュニティセンター新規利用登録件数(伸び率) 令和6年度: 432件、令和7年度: 513件 伸び率118.8% ※件数及び伸び率は4コミュニティセンター全体							

※4コミュニティセンター全体で目標値を設定しているため、上記の目標値及び実績値は4コミュニティセンター全体のものです。また、見え消し分は、当初目標値です。

3. 担当課所見

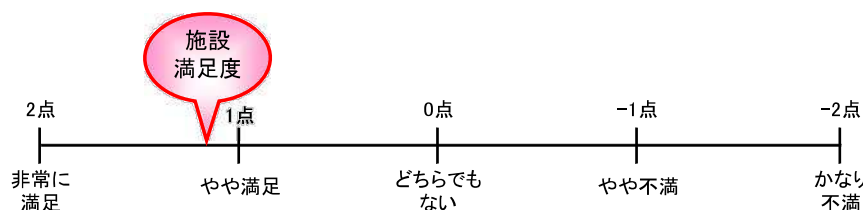
担当課 評価	コロナ禍の影響による臨時休館がなくなった令和4年度から、少しずつ地域活動が復活していく中で、周知啓発活動や団体の活動支援などに注力したことにより、特に令和5年度からは各事業の登録者数や参加者数の増加に繋がっている。 また、施設の利用者数についても、様々なイベントの企画・実施や利用者増に向けた情報発信等により、コロナ禍前の水準まで回復している。 さらには、積極的に先進地視察等を行っており、職員一人ひとりの企画力、共働力、調整力などのスキル向上につながり、ひいては、事業の質の向上にもつながっている。 なお、上記指標は令和7年度、8年度(令和8年度の目標値をそれぞれ、活動指標①を6,400人から11,000人、活動指標②を27件から34件、成果指標②を460,000人から480,000人)に上方修正を行っており、予想を大きく上回るペースで成果を上げている。 これらは現指定管理期間において大きく評価できる点の1つであると考える。
-----------	---

利用者満足度(利用者アンケートより)

サンプル数: 149

■総合的評価(満足度)

①【施設の評価】満足度総合評価: 1.17 点

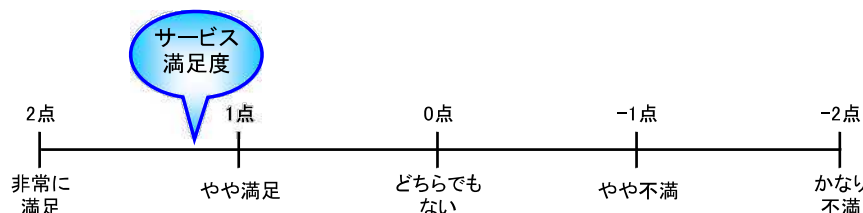


	アンケート結果より					
	①	②	③	④	合計(a)	
①情報の入手しやすさ	非常に満足(2点)	38	63	87	73	261 (44%)
②施設のアクセスの利便性	やや満足(1点)	54	44	46	50	194 (33%)
③施設の清潔さ	どちらでもない(0点)	47	30	13	20	110 (19%)
④設備の整備情報	やや不満(-1点)	4	11	2	4	21 (4%)
※R7年度の1年間において、 開館期間・時間に関する クレーム等は特になし	かなり不満(-2点)	2	1	0	0	3 (1%)
	無回答(点数なし)	4	0	4	2	10
	有効回答数合計 (※無回答を除いた数)	145	149	148	147	589

※満足度

$$\begin{aligned}
 &= (a) \times \text{各項目の点数} \div \text{有効回答数} \\
 &= (261 \times 2\text{点} + 194 \times 1\text{点} + 110 \times 0\text{点} + 21 \times -1\text{点} + 3 \times -2\text{点}) \div 589 \\
 &= \underline{\underline{1.17}}
 \end{aligned}$$

②【サービスの評価】満足度総合評価: 1.22 点

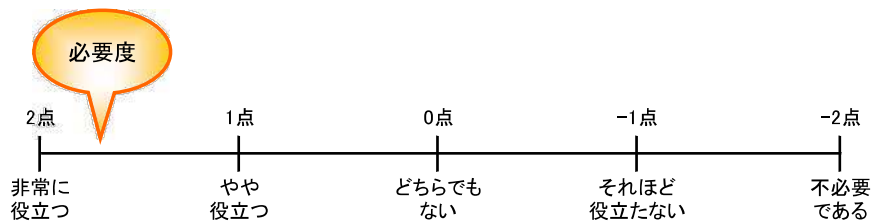


	アンケート結果より					
	①	②	③	④	合計(a)	
①利用手続きの簡便さ	非常に満足(2点)	63	83	44	73	263 (47%)
②基本的なサービス	やや満足(1点)	40	44	45	32	161 (29%)
③イベントなどの付加的サービス	どちらでもない(0点)	32	17	47	32	128 (23%)
④利用料金の適切さ	やや不満(-1点)	4	0	0	1	5 (1%)
	かなり不満(-2点)	0	0	0	0	0 (0%)
	無回答(点数なし)	10	5	13	11	39
	有効回答数合計 (※無回答を除いた数)	139	144	136	138	557

※満足度

$$\begin{aligned}
 &= (a) \times \text{各項目の点数} \div \text{有効回答数} \\
 &= (263 \times 2\text{点} + 161 \times 1\text{点} + 128 \times 0\text{点} + 5 \times -1\text{点} + 0 \times -2\text{点}) \div 557 \\
 &= \underline{\underline{1.22}}
 \end{aligned}$$

■総合的評価(必要度): 1.68 点



	アンケート 結果より 人数 (a)	
非常に役立つ(2点)	103	(75%)
やや役立つ(1点)	29	(21%)
どちらでもない(0点)	4	(3%)
それほど役立たない(-1点)	1	(1%)
不必要である(-2点)	1	(1%)
無回答(点数なし)	11	
有効回答数合計 (※無回答を除いた数)	138	

※必要度

= (a) × 各項目の点数 ÷ 有効回答数

= (103 × 2点 + 29 × 1点 + 4 × 0点 + 1 × -1点 + 1 × -2点) ÷ 138

= 1.68